

さなさん 「ひとのところのふれてはいけない・・・ところ?  
そのこと、きづいたから・・・」

すみつこ 「じりぐちから、からりんからりんと「うチヤイムと、データがあくおとがした」

ひまつり 「はえ～、おきやくさんみたいですよ。ひまつり。にこにこ～。

すまじゆのじゅじゅじんさんの、ひまつりってい～ます～」

ひまつり 「おきやくさんい、にこがど～ゆ～とか、い～ますね～。

にこは～、え～と、はえ～、なんでしたつけ～。

たしか～、そ～よ～がつこ～ってゆ～、がつこ～のなかにある、

けあかへすまいりすまじる、つてゆ～、きつちやてんでしたつけ～。

そこにいらつしやる、いろいろなことをかかえてる、おきやくさんたちに、  
きつちやてんの、じょ～れんさんのひとたちが、いろいろなそ～だんをきくとか、

いわいのな、あじばいすをするつてゆ～、そ～ゆ～とこだつたとおもいませ～」

ひまつり 「ここで、はなされぬじきづらさと、おなじようなじきづらさを、おきやくさんが、

かかえることになつたとおとか～、いきていくうえでの、なやみや～、

だれにもいえないことや、かなしみとか～、それから～、え～と～、はえ～。

ほかにも～、くぬじ～とや～、そんなことをもつときになつたときになりました。

そ～ゆ～とや、にこでのおはなしを～、じじぶんのことのようにおもつたり、

にこできじたことや、はなされたことをおもいだしてほし～です～。

そ～することで、いまか、いつか、おきやくさんにとって、げんきができるとか、

はげましになつたり、なやみをよくするとか～、じきづらさがかるくなるとか～、

ほかにも～、えがおになるつてゆ～よ～に、にのきつちやてんでき～たことを～、

おやくにたててもらえると～、うれし～な～つて、おもつてます～」

ひまつり 「すまいるにきたこととで～、みなさんのにこりるのなかに～、なにか、のこつて～、

おきやくさんがいきてじくうえで～、すまいるでのおはなしが～、

おやくにたてればうれし～な～つて～、ひまつりはおもつてます～。

よければ、こ～しじ～ぬ～でも、のんていつてください～。

じゅ～、はい～、こ～しじ～ぬ～です～、ど～ぞ～」

さつくん 「じきづらさに、やくにたつことを、スマイルでみつけてほし～つておもうんだ～」

まゆゆ 「だな。オレたちと、スマイルにやつてくる、きやくたちとのはなしのなかでだ」

なずなず 「おきやくさんのじきづらさが、すこしでもかるくなれば、うれしいですわあ」

すみつこ 「ひまり、そのコーチィング～、しょうみきげんが、いちねんくらいすぎてる」

ひまつり 「はえ～？」

[ care-cafe : smiley-smile ]

「いきたあかしとか、いきたいみつて、どくゆくもので、  
どくゆくふくにしてみつけて、のこすんでしょくかく?」

[ care-cafe : smiley-smile : 01 ]

すみっこ 「そして、べつのひ。

のんびりとすゞす、いつもおりのスマイルのまつわいん。

いりぐちから、からりんからりんといつチャイムと、ドアがあくおとがした「あー、いちげんさんだー。いやつはー」

まゆゆゆ 「いやつは。めんどくせえのがきたな。なんだ?」

なずなず 「いやつはあ。なにかおはなしですやろかあ?」

すみっこ 「ほえーんとした、じょしが、スマイルにやつてきた」

じょし 「はえー、あのー、けあかへ、すまいりすまいるせんつて、えいりやしょーかー?」

さつくん 「じこかってゆーより、いじがスマイルだよー」

じょし 「はえー、ここでしたかー。じじかんくらい、まよいましたー」

さつくん 「じつひやー、まよいすぎだよー」

じょし 「がつこーにきたの、きょーがはじめてなんですー」

なずなず 「それでまよつたんやね。で、なにかおはなしですやろかあ?」

じょし 「はいー。ここでおはなしをきいてもらえるつてきいてー、

おはなししたいことがあつてー、きましたー」

まゆゆゆ 「やうか、ならとりあえず、あだなでもかんがえとけ。

いじでは、むかしつから、あだなでよびあうことになつてんだ」

じょし 「はいー、じやー、ひまくりつてよんぐだせーー」

さつくん 「ひまーりさん、なんのはなしなの一?」

ひまくり 「かたつぼのてが、びょーきで、すこしつづきにくいんですー」

まゆゆゆ 「ざけんなつ、んなことくらいかつ。ああいでなんとかしるつ」

さつくん 「まーまー、まゆゆゆー」

ひまくり 「おじしゃせんとか、まわりのおとなのみなさんは、

きつとよくなるよつていつてくれてますー」

なずなず 「なり、よくなるとおもいますわあ」

まゆゆゆ 「そうだ、そういういまだけのことなら、かたほうのてなんていう、

んなこまかいこと、きにすんなつ」

ひまくり 「でも、びょーいんのおじしゃせんと、ひまくりのおとーせん、おかーせんが、

ヒソヒソはなしてゐるのを、こつそりきいたんんですけど、

ほんとは、しんこーせーのきんにくのびょーきつてゆーので、

からだじゅーのきんにくの、ちからがどんどんよわくなつてついて、

しまいには、ずくつと、ねたきりになるらしくですー」

みんな 「・・・つー!」

ひまくり 「からだがうじくじまのうぢかに、

いきたあかしとか、いきたいみをみつけて、のこしたいんですね。

それで、ききたいことなんですが、いきたあかしとか、いきたいみつて、どくゅ～もので、どくゅ～ふうにしてみつけて、のこすんでしょうか～？」

まゆゆゆ 「なんこと、かんがえたことねえ」

さつくん 「うーーん、さつくんにもわかんないよー」

なずなず 「むずかしいしつもんやわあ」

すみっこ 「いきたあかしや、いみとがどうこいつものかというのは、

ひとにきくことではなく、じぶんでさがすことだとすみればおむう。なぜかというと、いきたいみや、いきたあかしというのがなにかは、ひとによつてちがうから。じどものためだとか、ゆうめいになりたい、えらくなる、とくべつなひととすゞじかん。いみをかんじることや、のこしたいことというのは、いろいろ、ひとによつてちがうとおむうよ。だから、そのことは、じぶんでさがすことがひとつようなんだよ。でも、みつけかたについては、ひまりさんを、たすけたいとおむうよ」

まゆゆゆ 「だな。さがすてつだいはすつぞ」

さつくん 「ほんとだねー。じぶんでさがすことだねー」

なずなず 「ひまりさんが、いままでいきてきたなかで、

だいじにしてきたことつて、なんなんですかやるかあ？」

ひま～り 「はえ～、おと～さんと、おか～さんに、

よろこんでもらえるよ～にすることです～」

すみっこ 「それに、かぎがあるかもしれない」

さつくん 「なら、おと～さん、おか～さんによろこんでむか～いよ～、

じかんをつかうのが、ただしーとおむ～よー」

まゆゆゆ 「だな、オレもそうおもうぞ」

ひま～り 「はえ～、おしえてもらつたことと、ちがうことこつてじめんなさい～。

おと～さん、おか～さんは、ひま～りに、のんきのじんせ～を、

せ～いっぱい、いきてほし～みたいで、

そ～するのがよろこんでもらえるみたいです～」

なずなず 「なら、せえいっぱい、いきる」とやわ。それが、ひまりさんそのためにも、

だいじにおもてはる、じりよおしんのためにもなるとおむ～でえ」

ひま～り 「そ～ですか～、そ～ですね～、そ～します～」

さつくん 「ひま～りさんが、びよーきが、じつはおもいつてことをこつてゐるのー～、

ひま～りさんの、おやじさんは、きづいてゐるのー～」

ひま～り 「きづいていないみたいですよ～。

きつとよくなるからねって、りはびりのときにはいつもこいつでもうって、  
はげましてもらつてて、ひまつりも、おとっさん、おかーちゃんのまへで、  
びょーきがおむじことに、きづいてないふりをしてます~」

すみつこ 「ひまつりさんも、おやじさんも、おたがいのために、  
ほんとうのことを、しらないふりをしてるんだね」

なずなず 「なずなずたちがいのひとは、ひまわりさんのがよおきのひと、しらぐるんのやね~」

ひまつり 「はい、そ~です~」

さつくん 「だれにもいえないのって、くぬじーよね~」

ひまつり 「はい、そ~です~」

まゆゆゆ 「なるほど。。。で、せいいつぱいしゃる、か。

みんな 「なにかがのいぬいとで、なにをせじいつぱいするか、だな」

すみつこ 「すみつこちゃん、かんがえがいきづまつたし、  
きぶんをかえるのに、コーシーグーヌーもひつてえかな?」

なずなず 「うん。じそじそ。はい」

さつくん 「さつくんももううね~。じくじく。すみつこのコーシーグーヌー、おじしーな~」

ひまつり 「はえ~、すみつこさん、すまいるさんのじゅじんさんなんですね~」

まゆゆゆ 「じゅじんというより、スマイルのてつだいがかりだ」

なずなず 「むかしのじゅじんのひとが、もおそつきようして、いいひんねん」

さつくん 「すみつこのほかの、いまここにいるひとたちは、

みんな、スマイルのじょーれんの、おきやくさんだよ~」

ひまつり 「はえ~・・・

すみつこ 「りょうり、そうじ、せんたく、かたづけ、なんでもするよ」

さつくん 「ひまつりさんも、コーシーグーヌーのんですよ~」

ひまつり 「はい~、いただきます~。じわじわ・・・がはつがはつ、げはつげはつ~」

なずなず 「だいじょおぶう?」

すみつこ 「じめん、おいしくなかつた?」

まゆゆゆ 「つかしいな。スマイルのコーシーグーヌーは、  
そういうのめいぶつになるくらい、うまいはずなんだが」

ひまつり 「はえ~、ひまつり、のどのきんにくがすでによわつてて、  
それでむせたみたいですよ~」

まゆゆゆ 「わりい、きづかなかつた」

すみつこ 「じめんね」

なずなず 「わうやつたんやあ、むせたんかあ」

さつくん 「よけーなものすすめたみたいー、ごめんー」  
 ひまぐり 「はえ・・・。

すまいるさんのがしゅじんさんを、やりたいです。

すまいるさんのみなさんに、いろいろたすけてもらえて、  
 すまいるさんって、すてきなところだなっておもつたんです。

すまいるさんくる、いろいろなひとのはなしをきいて、ちからになつて、  
 いろいろなひとたちのところに、なにかをのこすことをしたいです。

すまいるさんで、ひまぐりがびょくぎでも、  
 なにかをやりとげられるつておもいたくて・・・。

すまいるさんのごしゅじんさんになるの、だから、ぜひしたいです。  
 でも・・・びょくぎの、ひまぐりなんかに、できるでしょか?

まゆゆゆ 「おおバカおんなかテメーはっ!だれだつてはじめは、じしんなんてねえんだぞっ!  
 ジしんなんていうのは、つみかさねていくもんだっ!

さいしょはむりだとおもつても、やつてみればぜんとついてくんだっ!  
 オレだつて、とくしうがつきゅうにかようことになつたときに、

さいしょ、さんせんじしんをなくしたんだぞっ!  
 だがいま、けんどうをやつて、べんきょうもひつしになつてやつて、

・・・それでいまなんとかなつてんだっ!」

さつくん 「きょーの、まゆゆゆは、よりいっそーあついなー」  
 なずなず 「まゆゆゆくんのゆうとおり、じしんはあとからついてくるとねむりでえ」

さつくん 「がんばるほーが、なにもしないでいるより、よっぽどじーことだよー」  
 すみつこ 「ひまりさんは、のこしたいこととこうのをみつけたんだ。

くぬしじかもしれないけれど、やりとげてほしー」  
 ひまぐり 「はえ・・・。

・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・やります」

なずなず 「よかつたわあ。ええ」とやでえ」  
 さつくん 「そつかー、いっしょにがんばるーっ」

まゆゆゆ 「すきにしる、テメーがえらんだことだる」  
 すみつこ 「うれしい、げんきになつてもらえて」

ひまぐり 「はい、みなさんといっしょに、がんばりまーす」  
 さつくん 「ひまーりちゃん、りょーりつて、どれくらいできるのー?」

ひまぐり 「はえ、ずっとまえに、ちよーりじつしゅへでしました。」

「そのせかには、したないとないです~」

おゆゆ 「んなもん、すんしそつおせえで」

なずなず 「レンジで、れえとおタイヤキを、かぶとおあくびのこかみせじのとこやね」

わくわく 「そーだよー、タイヤキたのしみー」

ひま～り 「せえく、れんじつて、つかつたことなこやく~」

なずなず 「えつ、めずらしき」

おゆゆ 「なら、かんたんにつくれるトーメンのレシピをかぶこやく~」

ひま～り 「せえく、そくゆーのゆ、つくれたことなこやく~」

すみつん 「ローシーグーネーのレシピかた、おしゃべれ」

ひま～り 「せえく、じつ～せつべつたことわぬりおやく~」

おゆゆ 「おじおじ~」

わくわく 「ねよーりじつしょーがでれぬだら、おれどおばだよー」

ひま～り 「せえく、むかし、ちょーりじつしょーのとわに、

ひま～りのつくりた、ねりょーりで~、

がつり～じゅーの、みなわんわんじんが、しょくぢゅーじゅーはなつた~」

みんな 「おじかよー~」

ひま～り 「ひま～り、がんばります~」

みんな 「がんばぬのせらうかど、だぶつめいだなのかよ、ひのひせ~ー~」

すみつん 「やしき、ぐつる。

じつぐわから、からりんかのとくわチヤイムル、ズトがあくおとがつた」

ひま～り 「せえく、あの~、けあかく、おあらわおあらわえい、えいじつやーか~」

わくわく 「ひだりーつて、あれー、ひまーつちやんー~」

ひま～り 「せえく、ひだりー。ななじかんくら、およじまつた~」

みんな 「ひだりー、やいわやれたんかー~」

[care-cafe : smiley-smile : 01]

「だれだつてはづねせ、じつせなんてねえんだもー~、

じつんなんてふ~のせ、つみかわねてふ~やんだ~、

やいこよせねつだとおわ~いとわ~、やいとみれせしょくせんつ~いとくべ~だ~」

「ふみせかくじぬるゆ~、のひつだこくじゆるゆ~のせ、

じねう~、ひいにちむかわねがいとねがい~

だかく、ルのひくせ、じふんじわがわいじがわいじむかだ~」

- すみっこ 「そして、べつのひ」  
ひまぐり 「なずななななずさん」、りんどうさんをむいてあげまく~」  
なずなず 「ひあたりちゃん、ありがとおやでえ」  
ひまぐり 「しゃりしゃりしゃり・・・あ~」  
まゆゆゆ 「どした? ゆびでもきつたか? だいじょぶか?」  
ひまぐり 「まちがえて~、たねをむいてとつてしまいました~」  
すみっこ 「ふつう、とる」  
さつくん 「どひやひやひやひや、ほんとはタネどと、たべせぬつもりだつたんかーーー」
- すみっこ 「そして、べつのひ」  
ひまぐり 「あの~、このまえ、がつこうの、ものかげをあるいてたんですが~、  
なぜか、みどりいろのえきたいがたくさんおちてたんです~。  
あれ、なんだつたんですかね~?」  
すみっこ 「それ、せいとかいちょうの」
- すみっこ 「そして、べつのひ」  
なずなず 「はえ~、しゅっぱんをしじめになるよ~なことしつましょ~か~?」  
さつくん 「あの~、ひょーげんのじゅーば?」
- すみっこ 「そして、べつのひ」  
ひまぐり 「できました~、ひまりすぺしゃるいかだ~です~。  
かえるさんのひものをつかった、おりょくうをつくりました~」  
なずなず 「わあ、たのしみい、つて、え・・・カエル?」  
まゆゆゆ 「おい、これ、トカゲのえさか?」  
さつくん 「どひやひや、なまなましくて、おしゃべじどきには、みたくないなー」  
すみっこ 「ん~、モザイクかけといて」  
ひまぐり 「じちやぼしです~。う~ん、お~しそうで、よだれがでます~」  
みんな 「どういうみかくと、びてきかんかくしてんだつ?ー」  
すみっこ 「なんていうなまえの、りょうりなの?」  
ひまぐり 「はい~、むげざつぱです~」  
みんな 「なんともあやしいなまえだつー」

さつくん 「あいてのひととおなじよくなつたことのない、さつくんたちが、  
いちげんさんにいろいろいって、そんなの・・・許されるの？」

「見たかったの・・・」心が止まらない・・・」

[ care-cafe : smiley-smile : 02 ]

すみっこ 「いまほのじかな、ひるさがりの、スマイル」  
さつくん 「そとはあつたかいけど、きょーもタイヤキが、  
かいとーしきつてなくて力チ力チだなー」  
まゆゆゆ 「このタコヤキも、レンジであつためたはずなのに、まだそうとひ、こおつてつぞ」  
なずなず 「なずなずの「一シーグースーも、こおつてるわあ」  
さつくん 「どうやつてコーチーイグースーを、こおりすんだか。どひやひやひやひや」  
ひまつり 「はえー?」  
あー、だれかおみえになりました。ひまつり。にこにこ~  
じよし 「ひまです」  
だんし 「こんにちは。ひま」  
ひまつり 「ねむたそーですねー、ねむたいさん~」  
ごむたそー 「ねむたそーですねー、ごむたいさん~」  
すみっこ 「ねむたいさんは、ねむたそーなおとこひとで、  
ごむたいさんは、おとなしそうなおんなのひと」  
まゆゆゆ 「おいひま、ごむたそーつて、  
なんかぶんぽうじょう、むりがあるの?」  
さつくん 「カッフルさんですかニヤー?」  
まゆゆゆ 「あんま、んなこと、うれしそうにきかへな」  
ねむたい 「うだよ」  
ごむたい 「そうだよ」  
ひまつり 「まづは、ひーしーぐーぬーでもー。どーだー」  
ねむたい 「びびぐび。おいしぃ」  
ごむたい 「びくびく。あまいですね」  
すみっこ 「どつちもはずれだつたもよ~」  
さつくん 「こおつてなかつたかー。して、ほんじつはどんない?」  
なずなず 「なんか、しんこくそおやねえ」  
ごむたい 「まあその···」  
ねむたい 「うん···」  
さつくん 「ニヤハハハハハ」  
まゆゆゆ 「おじこらさくつ、まじめなはなし、すつみてえなときには」  
すみっこ 「おじこらのすきそなはなし」  
ごむたい 「わたしたち···こどもができて···」  
さつくん 「びつひやー、オギヤーができた、オギヤーができた、めでた——」  
まゆゆゆ 「おいつ、ぜんぜんめでたくねえぞ」

さつくん 「えー、なんでー?」  
ひまぐり 「はえー?」  
なずなず 「おふたりとも、なずなずたちとほとんど、としがかわらんみたいやのに、  
「」どもができるとなるとなあ」  
さつくん 「オギャーができたんだよー、めでたいよー。」だからにめぐまれたんだよー  
まゆゆゆ 「じうやつてそだてるつもりだつ。ことのおおきや、わかつてねえだらつ」  
さつくん 「えー、うーんー、そりやー、ぼにゅーをあげてー、がっこーいかしてー」  
まゆゆゆ 「オメーはもうじい。で、アンタら、おろすかどうかでなやんでやがんだな?」  
ねむたい 「うつ」  
ごむたい 「そつです」  
なずなず 「おふたりのかんがえとしては、どおなん?」  
ねむたい 「ぼくとしては、おろしたほうがいいかなつて」  
ごむたい 「いやつ、あたしはそんないや、ぜつたいうむつ」  
なずなず 「おふたりのかんがえが、べつべつなんやねえ」  
まゆゆゆ 「たちわりいな。で、なんでふたりはそういうふうにかんがえてんだ?」  
ねむたい 「やつぱり、そだてるのがたいへんで、ふたりのしおりいをかんがえると、  
おろすのがいちばんいいかなつておもうんだ」  
ごむたい 「わたしは、すきなひとのこどもをおろすなんて、ぜつたいいやです。  
もう、いのちをもつてゐこどもなのに・・・うう・・・」  
ひまぐり 「はなしが、ひーとあつぶしてきたからか、こおつてた、たいやきがとけてますー」  
さつくん 「なんか、どういうはなししてゐのか、よくわかんないけど、  
ぱくぱく。おいしいね、タイヤキ。まゆゆゆもタ「ヤキたべたら?」  
まゆゆゆ 「ガキは、だあつてる。」  
にしても、ふざけたおとこだな。テメー、それでもおとこか?」  
ねむたい 「げんじつてきにかんがえると、しそうがないよ」  
まゆゆゆ 「ぞけんなつ、テメーがつくりたくてかつてにつくつたガキだらつ!  
やりたいことやつといて、せきにんとれねえなんていうなつ!」  
オレはテメーみてえな、せきにんをとれもしねえことをするやつと、  
せきにんのがれをするやつが、でえつつつきれえなんだつ!  
おとこだつたらせきにんとれつ! ふたりのしおりいが、  
はらんなかにできてるガキのしおりいを、ちつとはかんがえやがれつ!」  
ねむたい 「う・・・」  
ごむたい 「ひつく・・・ひつく・・・」  
さつくん 「うーん、きょーのまゆゆゆは、いちだんとあついなー」

- なずなず 「まゆゆゆくん、ほんかいのおはなしは、かなりおもしろいみたいやし、  
けつるんはださずには、もんかいのせえりだけにしどりおやあ」
- まゆゆゆ 「そうか？ なら、ほんのぜんいんのかんがえをきいとくか。  
みんな、うむかうまかないか、どつちにすべきだとおもう？」
- わいわい 「そりやー、うむべきだよー。せつかくできたんだしー。
- ひまつり 「ほえー。よくわかんないですけど、あかちゃんがかわいそうですしね、  
いのちをうばうのは、やめとくのがいいかなうつて、ひまつりはおもじめすー」
- まゆゆゆ 「うめ。りゆうはせつまいった」
- すみっこ 「ねむたいさんほんのうとおり、げんじつてきにかんがえるべや。  
「うんでも、おやも、ほじもも、そのかぞくも、みんなふにうにならうだけ」
- なずなず 「ううん、おふたりがどおすんのか、よおわからんのやけど、  
なずなずがおなじたちばやつたら、おろすかなあ」
- まゆゆゆ 「だとよ」
- すみっこ 「せきにんりんをいつてもしかたない。  
そして、ほれからどうするかをかんがえたとき、  
いちばんメリットがおおきくて、デメリットがすべないのが、  
だたいわせることだとおもひ。
- ただし、おんなのひとへの、きわちとからだのくぬしさは、  
はかりしれないことになる」
- ひまつり 「ひまつりが、まえに、じきゆめんたりうえうがで、  
びょいんでの、だたいのしうんをみたことがあるんですね。  
こんなめにあうなら、ほじもができるよくなことを、  
かんたんにしちやいけないんだなうつておもいました。
- ほんとくに、おんなのひとは、ほんのりもからだも、  
すみっこさんゆうとくり、すくすくもずつくとおもひますー。  
たぶん、うまれてこなかつたほじものにとて、いつしょーくるしみつづけますー」
- みんな 「・・・・・」
- まゆゆゆ 「つざけやがつてつーそれでも、おとこほんのりうしたがりやがんだつー」
- すみっこ 「それと、もういつてもしかたないことだけど、  
どれだけこどもができるようになりますつかもつかつても、できるときにはできる。  
ぜつたいうみたくないなら・・・できるようなことをしないつていうことだけ。  
そういうものなんだつて、みんなにおほえておいてもりいたいなつておもうんだ」
- なずなず 「わうやね、きいつけななあ。なずなずの、だいがくいんせえの、おとこわんが、

なずなずに、ゆびいっぽんふれへんのも、きっと、そおゆうかんけえなんやわあ「

ひま～り 「はえ～、なずなずさんのおとこさん、りっぱなおとなんです～」

さつくん 「せけんでは、よくおろすおろすってゆ～よねー。」

やつぱ、みんなそのほうがいっておもつて、おるすのかなー」

まゆゆゆ 「まわりがどうかなんてかんけいねえ。じぶんがどうおもうかだ」

すみっこ 「まわりにながされてこいびとをつくって、まわりにながされてこどもをつくって、

まわりにながされてこどもをおるしていぐ。そういうのが、いまつてこらむの」

なずなず 「わかいひとにかぎらす、そおゆうけえこおにあるやんね。

なにもかんがえずに、なんでもまわりにながされる」

まゆゆゆ 「つざけてんな、どいつもこいつもつ」

なずなず 「おるすつてかるくいうけどやで・・・あついいかたになつたらばめん。

つまり、にんげんの・・・じぶんのこどものいのちをうばうつてゆり、

こどもをつくつて、おるすつていうのは、そおゆうせんたくをする」とやねんで。

そのことを、おふたりにはしつといてほしいです」

ひま～り 「あかちゃんのこと、おもいきりだきしめてあげてほし～です～。

そ～すれば、うんでよかつたな～つて、おもえるとおもいます～」

すみっこ 「ここにいる、みんなからいえることとしては、そんなどこかなー」

まゆゆゆ 「だな」

さつくん 「そーゆーー」とりこーよー」

ねむたい 「わかつた。みんな、ありがと～。

じやあ、できるだけうんで、そだてていけるよ～にやつてみる」

ごむたい 「・・・うつうつ・・・うう・・・ありがと～、あやくん・・・」

まゆゆゆ 「それでこそ、おとこつてもんだ」

なずなず 「けつるんとまではいかないけど、いいほうこりにはもつていけたみたいやねえ」

ひま～り 「おふたりさん～、またきてくださいね～。ここにこ～」

すみっこ 「しんみりとスマイルからかえつっていくふたり」

さつくん 「あー、きょーも、すくえなかつたなー」

すみっこ 「じょげんはできたし、それでじゅうぶんだとおもひ」

さつくん 「そつかー。ならよかつたよかつたー」

なずなず 「できるかぎりのことはできたでえ」

まゆゆゆ 「ああ、やいせんはつくした」

さつくん 「みんなー、さつき、こおつてたのたべよー。もつとけでるよー」

なずなず 「ぐくぐく。ふくぞりつなきもちやけど、ローシーグーナー、なんだかおいしー」

まゆゆゆ 「がつがつ。まあ、おもつてたより、そんなわるくないあじのタ」ヤキだな」

ひまぐり 「はー、やつままでこねつてた、こりもどぞ」  
さつくん 「よーするに、ただのみずつてゆーんとちやうんかーいー」

すみっこ 「ヤツヒ、 べつのひ」  
さつくん 「あのふたり・・・ちゅうぜつしたんだって」  
まゆゆ 「ひやけやがってー! くそがー!」

[ care-cafe : smiley-smile : 02 ]

「おんなのひとくの、きもちとからだのくぬしさは、はかりしれないことにない」「ほんとに、おんなのひとは、じこのもからだも、すくすくあすくとおもいませへ。たぶん、うまれてじなかつたじこものじとじ、じつしょへへみしみつげかおすべつもあり、にんげんの・・・じぶんのじこものかわいぢせりつてゆく、」  
じどもをつくつて、おろすつてじうのせ、おゆうせんたくをあぬいとやねんど」「じれだけじどもができるようつにあをつかつても、でもあるときにはでやる。  
ぜつたいうみたくないなり・・・でもゆよつなことをしないつていうじとだた」「あかちゃんのこと、おもじきりだきしめてあげてほしへどすへ。  
そくすれば、うんできかつたなうつて、おもえるとおもこおもすへ」

すみっこ 「そして、べつのひ。

さくらのあたまのなかのかんがえごとのわりあいは、

ソフトボールごじゅつパーセント、タイヤキごじゅつパーセント」「アント

まゆゆゆ 「しつれいなはなしだけど、たしかにそうだろり」

さつくん 「どひやひやひやひや、そんなことないってー」

なずなず 「そおそお、さつくんちゃんにしつれえやとおもひでえ」

さつくん 「セーかくには、タイヤキが、はちじゅ一あゆ一パーセントだよー」

みんな 「そういうわりあいかつ！？」

すみっこ 「そして、べつのひ。

さくらはおそらく、ソフトボールしながらでもタイヤキくつむる」

まゆゆゆ 「しつれいなはなしだけど、たしかにそうだろり」

さつくん 「どひやひやひやひや、そんなことないってー」

なずなず 「そおそお、さつくんちゃんにしつれえやとおもひでえ」

さつくん 「セーかくには、タイヤキやきながらだよー」

みんな 「どういうやりかただつ！？」

すみっこ 「そして、べつのひ」

なずなず 「いま、そおよおがつこおのなかで、ロシアンルーレットっていふ、たのしいことが、はやつてるらしくでえ」

まゆゆゆ 「んだそりや」

ひまぐり 「はえー」

なずなず 「ロシアンのはいってる、おまんじゅうをあてるみたいやわあ」

さつくん 「なるほどー、それなら、あたつても、はずれても、

だれもいやなめにあわずにすむねー」

なずなず 「てんこおせえの、おんなのごが、かんがえたんやつてえ」

ひまぐり 「じゃー、さつそく、すまいるでもやりましょーかー」

さつくん 「どーやるのー？」

ひまぐり 「ひまぐりのつくつた、ひまぐりまんじゅうをあてるつていう、たのしへんとをへー」

みんな 「それだと、ロシアンのほうとかわんないぞつー！」

ひまぐり 「たのしそーですー」

みんな 「たのしいの、アンタだけだよー。」

すみっこ 「そして、べつのむ」  
ひまぐり 「あのへ、こゝしへぐへぬへつて、なんなんでしょかへ？」  
なづなづ 「えつ、それもしらすにつくつてたんつ？！」  
すみっこ 「すみっこのおめちしきしゅう」  
ひまぐり 「一シ一とグースーに、せとうをませたもの。モリをしないひとがのむんだ。  
やうようがつゝうの、めいぶつだよ」  
ひまぐり 「はえ、ひまぐり、もつといるんなやうりよを、ませつつくつてましたへ」  
みんな 「どんなとんでもないざらりょうがまさつてたか、かんがえたくないつ！」

すみっこ 「そして、べつのむ」  
ひまぐり 「できましたへ。ひまぐりすペしゃるにじゅへですへ」  
なづなづ 「ねえ、ひまぐりちゃん。やきにきよときたいねんけど、  
んのおにく、なんのおにくなん？」  
ひまぐり 「しょくじゅがえるですへ」  
さつくん 「しょくじゅがえるかー」  
まゆゆゆ 「いちおひ、くえるくいもんだぞ。げてものとほいえ、もらう。がつがつ。  
みんな、しょくじゅがえるぐらうだと、もつおどりかねえか。がつがつ」  
ひまぐり 「しょくじゅさんから、もつてきましらへ」  
なづなづ 「しょく、ど、お。なん？しょく、よ、お。なんとちやうん？」  
まゆゆゆ 「よ、とちがつて、ど、つてことか」  
さつくん 「いやなよかんがー」  
ひまぐり 「しょくじゅさんがあたりにいた、かえるさんを、ほかくしてきましらへ」  
すみっこ 「しょくじゅとちがういきものを、ざいりようにしてるよ」  
まゆゆゆ 「おいつ、オレ、わいくつちまつたぞー」  
ひまぐり 「ほかくよーのえをとして、はえーさんをつかいましらへ」  
まゆゆゆ 「エサのハエじと、オレのはらのなかにかよつー？」  
すみっこ 「いまのきせつ、カエルはもういないばず」  
ひまぐり 「はい、まえにとつたのを、  
ひものにしておいたのでー、くわつてはこないとおもこまかへ」  
みんな 「むちやは、ぜひほどほどになつー」  
まゆゆゆ 「すでにくつた、オレのみにもなれ——————ひー」

さつくん 「ねえ、うまれてきたのって・・・意味をなにももたずくに？」

「アズモドー、アザムセウタアモドー」

[ care-cafe : smiley-smile : 03 ]

すみっこ 「きょうはなんだかいいてんき。でも、ひるから、くもるひじごひのスマイル」  
なづなづ 「きょうはゆうがたくらいから、あめらしげでえ」  
さつくん 「じまのうちに、ソフトボールのれんしゅーしにじこつかなー」  
まゆゆ 「ゆうがたから、ふるのか」  
ひまつり 「はれてるの、いまだけですか~。あ、おきやくせんですか~。ひまつ。にこにこ~」  
すみっこ 「まじめそうなじょしが、スマイルにやつてきた」  
じょし 「ひまです。はるせめのおりょうり、わらつていいですか?」  
ひまつり 「わかりました~」  
まゆゆ 「ひまつ。んだ、くいにきただけか?」  
さつくん 「ひま~。はるせめおいしーよねー」  
ひまつり 「できました~、はるせめのら~めんですか~」  
すみっこ 「えうみても、わるせばにしかみえないものをわたす、ひまつり」  
なづなづ 「ひまありちゃん、ちゃんとレシピみたんかあ」  
ひまつり 「はえ~?」  
じょし 「できればカロリーのすくないりょうりがいいです」  
すみっこ 「どんまい」  
ひまつり 「わるせばさん~、とんこつす~ふをのこすとい~ですよ~。かるり~ひかえめになります~」  
まゆゆ 「ひまはさつき、えうみでもカツオのほねでだしをとつてたぞ」  
ひまつり 「はえ~?」  
ざるそば 「あの・・・えと・・・。・・・えうすればダイヒツトできますか?」  
なづなづ 「そやなあ、うんどおと、むだなものをたべへんことが、だいじやるかあ」  
まゆゆ 「んだ、なんくだらねえことでなやんでやがんのか?」  
さつくん 「ふつー、たいじゅーを、きにするよー」  
なづなづ 「ふつうはなあ」  
すみっこ 「わかいじょせいの、やせがんぼう」  
ひまつり 「はえ~?」  
まゆゆ 「にくのついてるぼうが、このみだつておといはおおこや」  
さつくん 「まゆゆ、だまつてらんかーーー」  
なづなづ 「まゆゆくんは、わかつてへんなあ」  
すみっこ 「にぶい」  
ひまつり 「はえ~、ちや~しゅ~、おいしへですか~」

なずなず 「ひまわりちゃんも、わかつてへんなあ」  
すみっこ 「じつはけつこり、きょうれつなこといつてる、ひまわり」  
ひまわり 「はえ～？」

ざるそば 「たいじゅうのせいで、ここるのなかで、おもつてゐひとに・・・、  
きもちをいおうつて、おもえないんです」

なずなず 「そおなんやあ、それつてくるしいやんなあ」  
まゆゆゆ 「それは、ふとつてるつていうのと、かんけいねえんじやねえか？」  
さつくん 「まゆゆゆはだまつとらんかーー。なんどもいわせなさんなー」  
すみっこ 「とりあえず、まゆみのくちにガムテープはつとく。ベタベタベタ」  
まゆゆゆ 「もがーもがー、もががががつ！」

さつくん 「やつとだまつたかー」  
ひまわり 「はえ～。すみっこさ～ん、はなまでふさいでますよ～」  
さつくん 「じつひやー。ペリペリペリ。はい、はなだけはあけましたー」  
すみっこ 「じめん、やりすぎた」

さつくん 「きょーれつだなー」

なずなず 「いきだけは、できるよおにしどりやあ」  
すみっこ 「あばれてるし、いちおり、はしりにしばつとく。あゅうひうううう」  
さつくん 「もはや、じーもんだなー」

ざるそば 「きやすめとか、なぐさめとか、はげましとちがつて、  
どうすればほんとうにやせるか、しりたいんです」

さつくん 「それなら、なずなずのゆーとーり、うんどーがだいじかなー」  
すみっこ 「それと、じはんをちゃんとたべたほうが、  
からだにもいいし、げんきにやせられる」

なずなず 「すみっこちゃんのいうとおりやでえ。じはんはちゃんとたべるべきやわあ」  
すみっこ 「はるさめは、カロリーはひくいしそれもわるくない。  
けど、けんこうのためにバランスのいいしょくじをして、  
やさいと、にくも、ほかにもちゃんとたべて。

もちろん、パンやじはんなんかの、たんすいかぶつも」

ざるそば 「そんなことして、ふとりませんか？」

すみっこ 「からだをこわすのよりかは、まし。それに、リバウンドも、じにくくなゆよ」  
なずなず 「そうですわあ。すこしのあいだだけやせられても、  
リバウンドすると、いみがあらへんかなとおもいます」

ざるそば 「あたしのおもつてゐひとが、もうすぐ、とおくにてんこりするんです。  
それまでに、きもちをつたえたいです」

さつくん 「そんなじじょーがー」

すみっこ 「くるしいね」

なづなづ 「はなしがむずかしくなったわあ」

ひまぐり 「はえー。れんあいえーがみたいな、しちゅえーしょんですー」

さつくん 「どーすればいーかなー。うーんー、うーんー、うーんー」

すみっこ 「みじかいあいだに、いきなりやせると、かなりからだにわぬこよ」

ざるそば 「からだがわるくなるとしても、はやくやせたいです」

さつくん 「そこまでつよくなむつてるのがー」

すみっこ 「「いのやまい」

なづなづ 「「うん、おもいつきりなく」とも、ばあいによつては、だいじやろかなあ」

ざるそば 「そんないやです」

ひまぐり 「はえー、まゆゆゆゆゆさんガ、ちあのーぜになつてますー」

なづなづ 「まゆゆゆくん、たしか、アレルギーセえびえんやつたはず」

すみっこ 「じめん。くちにはつてあるのもはがすね。ベリベリベリ」

まゆゆゆ 「ゼーゼーゼーゼー。おじこりつ、さんずのかわに、かたあしつつこんだぞつ」

すみっこ 「みんなのいけんがつきたし、あく。まゆみは、じうおもつ?」

さつくん 「いちおー、おとこじこのももいとくねー」

まゆゆゆ 「いきができなかつたが、はなしをきいてた。

さつくん 「いつとくが、オレからいわせりや、あもちをつげられて、わるいきはしねえぞ」

まゆゆゆ 「べー、いわれたことあるのかー」

まゆゆゆ 「オメー、ひとをなんだとおもつてやあんだ」

さつくん 「どんまーいー」

まゆゆゆ 「にんげんのはんぶんは、おとこだぞ。それと、いまがすべてとおもつな。それとな、とくにアンタのみためがわるいよにはみえねえぞ」

なづなづ 「いまおもつているひとのほかにも、いひとは、たくさんいるつて」とやんねえ

さつくん 「そーだねー。まゆゆゆのゆーとーりだよー。ざるそばさんのみため、いーよー。ちやんとした、びじんにみえるからだつきだよー」

すみっこ 「なぐさめでもなんでもなく、みためはいいほうだとおもつよ」

ざるそば 「こんなにひとをつよくおもつたの、はじめてなんですよ」

なづなづ 「それは、まいかい、トトロをもつたびにかんじる」とやとおもつで

さつくん 「そーなのかー」

ひまぐり 「はえー?」

さつくん 「こんかいも、けつるんはだせそーにないねー。

みんな、けんこーをとるか、いまのこいか、どっちをとるべきかなー?」

すみっこ 「じまの「」をとるのをすすめるひと、てをあげて」  
さつくん 「はーい」  
すみっこ 「はい」  
なづなづ 「はい」  
すみっこ 「じゃ、けんこーをとるひと」  
まゆゆゆ 「はい。とうせん「」だ。からだじゅうしづばりれてて、てをあげられねえが」  
ひまぐり 「はえ~。ひまぐりはどつちともいえないです~」  
さつくん 「わかれたなー。でもおとこだけ、けんこーをとつたなー」  
ひまぐり 「はえ~。やるそばさんがおもいをつけたいなら、  
やるそばさんのなかではこたえはきまつてますし、こ~かいしないよ~に~、  
やれるだけのことをやって、ゆ~ことをゆ~のがい~んじやないでしょ~か~。  
れんあいのことは、れんあいえ~がでみたことくらいしかわからないんですけど~、  
あとで、こ~かいだけはしたくないです~」  
まゆゆゆ 「そういうかんがえか」  
なづなづ 「そやなあ、やりたいことのこたえはも~い、  
やるそばさんのなかで、きまつてるもんなんあ」  
すみっこ 「それもせいしゅん」  
ひまぐり 「ひまぐりなら、けつかはど~であれ、ゆ~ことをちゃんとと~めます~」  
さつくん 「そだねー、やるそばさんは、どうおもう~。」  
ざるそば 「そうですね。たいけいはどうあれ、  
ちゃんときもちはつげたほうがいいとおもいました」  
すみっこ 「こたえはかわってない。でも、きもちはかたまたた」  
さつくん 「せーしゅんは、いちどきりだよー」  
ひまぐり 「ひまぐりとちがつて、せもたかいですしほ、いまでもとつてもきれ~です~」  
ざるそば 「ありがとうございました。じゃあ、ゆ~きをだしていってみます。」  
それと、うんどうをがんばります」  
すみっこ 「うんどうしてほしい。でも、くれぐれも、おりしないで」  
なづなづ 「じはん、ちゃんとたべてください」  
すみっこ 「おちついてスマイルからかえつていく、やるそば」  
さつくん 「きょーは、ちよつとはちからになれたかなー」  
なづなづ 「ゆうきをもつてもらえただけでも、よかつたんやわあ」  
ひまぐり 「はえ~」  
すみっこ 「おりしないことをねがいたい」  
さつくん 「やるそばさんはけつときよく、せなかをおしてほしかつただけだったのかもねー」

ひお~り 「わお~りからみて、アホルルゼやん~、迷わくながじわとこみえてもした~」  
あゆゆ 「ヒルルド、オレのかいだの、迷わくながじなわを迷ひた~」

わ~くん 「じんまー~」

あゆゆ 「なにが、じんまー~だ~」

ひお~り 「せえ~、じつかの迷わくながいのをわすれてもした~。

わ~くん 「わがいてたせいで、わひと、しばりがきつくなつてじつてめ」

あゆゆ 「わなみに、すみつこば、あんぱくどりの、じだんだよ~」

あゆゆ 「じだんつておい~、しゃれになつてねえやつ。

オレ、わやんとじえにかえれんのかよ~」

なずなず 「なずなずも、わひとやせたいわあ。ダイヒツムセななあ」

すみつこ 「どれだけおもじねりになつたとしても・・・」

みたされるよりには、なれずじふるまも」

すみつこ 「わ~い、ぐつわ~」

わ~くん 「あー、おんなのひとか~、スマイルのひとたちあては、トガミガトミコトノ~」

ひお~り 「せえ~。のぶれた~ですか~」

わ~くん 「なにに・・・。

えんきよりれんあい~、おひああじかねじとじだつた。アホルルゼよ~」

みんな 「よかつたあ~」

[care-cafe : smiley-smile : 03]

「たこ~りのたぬは~バ~ンスの~じ~しょ~じゅ~し~」

やわ~と~ にくわ~ ほかにわやんとたべて。

わ~くん、パンや~はんなんかの、たんすいかぶつわ~」

「ホ~から~わやつや~、わやねをつづられ~、わぬこあさ~はん~」

「~か~しなら~よ~は~、やれるだけの~じ~をや~て、

わ~いとわ~のが~へんじやないでしょ~か~」

すみっこ 「えして、べつのひ」  
まゆゆ 「あ、むしがとんでも」  
すみっこ 「どる。まかせて。えいっえいっ、やあっ」  
なずなず 「ううん、なかなかとれへんない。スマイルは、じはんたべぬといやのにい」  
さっくん 「ねえ、ひまーりー。あのとんでもの、なんだとおもうー?」  
ひまぐり 「はえー?」  
さっくん 「じひやひやひやひや。はやか、はやことおもひー?」  
ひまぐり 「はえー?」  
まゆゆ 「おいつ、あんま、ひまであそんでやるなつ」  
なずなず 「むしをやつつけるスプレーでもあればなあ」  
すみっこ 「おくので。シュー————。せとひ」  
ひまぐり 「わー、たいじできましたー」  
まゆゆ 「なんかいま、くわから、せりがでてきたぞ」

すみっこ 「えして、べつのひ」  
なずなず 「ひもありちゃんのすきなたべものつてなんなん?」  
ひまぐり 「しょくゆとんこつですー」  
さっくん 「タイヤキもいーけど、しょーゆじりのとんこつラーメン、  
おじしーよねー、じぐり」  
まゆゆ 「オレも、うまいとおもうだ」  
すみっこ 「えいようたつぱり。かつおいしげ」  
ひまぐり 「いつも、ほねをすりつぶしてじはんにかけてましたー」  
みんな 「そつちを、そういうくいかたしてんのかつ?ー!」  
ひまぐり 「ほねじと、ぱりぱりたべてもしましたー」  
みんな 「つて、イヌですかいなつー?」

すみっこ 「えして、べつのひ。すみっこのみめかしもしう」  
やうよりのせじふくがかわいじと、あちこちでひょうばんになつてゐる  
まゆゆ 「おとこののは、ひでえぞ。けんどうぎのほうが、よつぜじめしだ」  
さっくん 「じょしの、かわいよねー。さっくんも、みんなも、わにいつてゐるよー」  
なずなず 「このせえふく、まえからきたかつたんやわあ」  
ひまぐり 「ひまぐり、ぶかりさんもでるわー、すてあだとおもこせかー」

みんな「つて、ひまりつて、どうじうかんかくしてんだかっー?」

すみっこ 「そして、べつのひ」  
ひまぐり 「できました、ひまりすぺしゃるさんだっです」

さつくん 「やたらめつたらおおきいカンのいれものに、サバカンてかいてあるよー」  
まゆゆゆ 「おもいきり、ふたがあいた、ただのでかいサバのかんづめだけだぞ。

こや、むしろそのほうがいいか。でかすぎなのがきになつが

なづなづ 「まゆゆゆくん、おためしかかり、よろしく」

まゆゆゆ 「またオレかよつ。でも、くうぞ。がつがつ。うん、ふつうのあじのサバカンだ」  
なづなづ 「かこうぎょうしゃ、そおよおがつこお、かいよおせえぶつけんきゅうぶ、

つて、かいてあるでえ」

まゆゆゆ 「えうせ、わけのわかんねえぶかつがつくなつた、わけわかんねえさかなだろ」  
さつくん 「で、ひまーりー。どーゆーぶかつなのー?」

ひまぐり 「よーしょくのけんきゅうとか、いろいろしてるといひじへです」

まゆゆゆ 「あじば、ふつうだつたぞ」

すみっこ 「すみっこのはめちしきしゅう。

クジラとねなじおおきのサバや、マグロくじらのおおきのアワビをつくつて、  
そうよのあちこちでの、アジモリのさかなにしてるといひ、ぶかつだよ」

なづなづ 「やつぱり、わけのわからんとこやわあ」

さつくん 「いでんしそーさで、モリのつまみをつくつてるんだるーなー」

まゆゆゆ 「いどんしそうさつて、んなもん、くわすなつ」

なづなづ 「ねえ、すみっこちゃん、なんでスマイルでは、アジをのまへんのお?」

すみっこ 「きつさてんだから」

ひまぐり 「はえー」

まゆゆゆ 「えういりりゅうか」

さつくん 「モリつてー、そーよーの、あちこちでやってるよねー」

まゆゆゆ 「ガキがモリなんか、するもんじやあねえぞ」

すみっこ 「スマイルでは、アジもモリも、どっちをするのも、すみれがゆるさないよ」

さつくん 「アジでふとつぱりうど、そのひとの、ほんとーのすがたがわかるつてゆーよねー」

なづなづ 「ひまありちゃんも、アジをやらへんやんねえ」

ひまぐり 「はえー、ひまぐり、あじのことはやらないんですがー、

みんな 「ひまりのほんしょう、じつはキケンだつー!」

まゆゆ 「オレたちは、どんなばあいでも・・・不幸から、のがれられないのかもしねい」

「やうやくのだらうやうかうのう、いもへんじわんがでんねう」

[ care-cafe : smiley-smile : 04 ]

すみっこ 「Hアコンがこわれてかかりっぱなしの、あつじぐらじの、スマイルのあせ  
ひまぐり 「できました。こいとまかるにをあえた、あたらしくおりょくりです~」  
なずなず 「ゴイとマカロニがあ。こんかいのは、おいしそおやねえ」  
さつくん 「いーかおりー。ゼンゼン、なまぐさくないよー」  
まゆゆゆ 「がつがつ。きょうのはうまいぞ」  
さつくん 「ぱくぱく。ほんとだおじしー」  
すみっこ 「すみれがつくつたよ」  
さつくん 「すみれがつくつたよ」  
ひまぐり 「はえ~、やつぱりそーかー」  
さつくん 「はえ~、きたいをうらぎりました~」  
ひまぐり 「はえ~? そ~なんですか~。  
あの~、れしひをかんがえたの、ひまぐりです~。  
こいのまかるにってゆ~、れんあいえ~がをみてかんがえました~」  
まゆゆゆ 「めちゃやめちゃなとこから、かんがえをひつぱつてきたみたいだぞ」  
さつくん 「ひまーりつてば、そもそもゴイのいみをまちがつてるなー」  
まゆゆゆ 「すみのりようり、やつぱりまじぞ」  
ひまぐり 「なんでやね~ん~」  
さつくん 「ひまーりー。ゆータイミングまちがつてるよー」  
ひまぐり 「はえ~?  
あ、おきやくさんみたいです~。ひま~。にこにこ~」  
だんし 「ひまです」  
すみっこ 「すなおそうな、がたいのいい、めがねだんしがやつてきました」  
ひまぐり 「じりべんさん、あついですし、こ~しへぐ~ぬ~をじ~ぞ~」  
ゴリベン 「あ、ありがと~」  
さつくん 「ひまー。だいがくかてーのひとー?」  
ゴリベン 「はい、そ~です」  
まゆゆゆ 「ひまつ。このあついのに、ローシーグースーから、ゆげがたつてつ~」  
ゴリベン 「いただきます。じくじくじく・・・おじしいです」  
さつくん 「すじーい、ホットをいつきのみだー」  
すみっこ 「ひま。はずれだけど、あるいは、あたり」  
なずなず 「ひまあ。がっちりしてて、おとこらしげのに、おちつこてますやんねえ」  
ゴリベン 「えつ、そうでもないです」  
さつくん 「だいがくかてーかー、おとなだー」  
まゆゆゆ 「だいがくかていか、つよやうだな。かくといきやつてんのか?」

なずなず 「まゆゆくん、ことばづかいがなつてくんでえ」  
ゴリゴン 「はい、やつてます。じかおう、じゅうじかさんだんぐす」  
さつくん 「つよー。つよあがー」

「ゴリゴン 「でれます」

すみっこ 「まゆゆと、さんどーたい、じゅーどーの、セーきのこっせんをしてほしー」  
なずなず 「ふふふふふ、じつちがかつんやね」  
まゆゆ 「つせーな。で、オレらみてえなとししたあいてに、なんかはなしか?」  
「ゴリゴン 「せつかくのだいがくせいかつなのに、うまく」じびとができなくて」  
さつくん 「スマイルには、ほんに、いいのなやみがおーくまよいみます」  
まゆゆ 「ちやかすな」  
さつくん 「もでそーに、みえよー」  
なずなず 「ゴリゴンさん、かつこええですよお」  
ひまくり 「はえ、じりべんさんの、」  
かたおもいしてゐひとつで、どんなひとなんですか~?」

「ゴリゴン 「かたおもいしてゐひと・・・とくにいてないです」

さつくん 「がくひ」  
なずなず 「あはは・・・」

まゆゆ 「おじおじ」  
なずなず 「じおも、そこがよくないといみたいやでえ」  
さつくん 「たべたいりょーりはとくにないけど、おなかだけはすこしてると」かなー。  
がつがつして、なんでもいーからたべたいっておもつてゐんだよー」  
まゆゆ 「そこをおんなに、みすかされてんだ」  
さつくん 「アナ」「じんぶりたべてるときの、まゆゆみたいにー」  
まゆゆ 「おいつ」  
ひまくり 「はえ。あなたじん、おじしーです~」  
なずなず 「なんでもいいとおもわれるのは、じょしとしては、ちょっとなあ」  
まゆゆ 「だな。アンタがおなじたばだつたらいやだる。」  
だれでもいいから、とにかくおとこがほしきつて、おんなにおもわれて、  
そのうえで、せまつていられるなんてよ」

「ゴリゴン 「そうですね、そうおもこます」

すみっこ 「かたおもいからでかまわないから、いいあいてをみつけて。  
そこからなかよくなつていくのをすすめるよ」

さつくん 「はやくも、これでかいつけしたなー。よかつたよかつたー」  
なずなず 「ゴリゴンさん、このみのひとつで、どんなかんじのひとですやるか?」

「ゴリベン 「そうだな・・・ほんをよむのがすきな、おとなしげひとですかね。」

「それで、しんのつよいひとで、じゅんすいなひと。」

「それでいて、かみはくるで、ながいひとがいいです。」

「ふくは、しるのみずたまのワンピースと、むぎわらぼうしのにあうひとかな。」

「あと、めがねがにあうひとで、せいそなかんじのひとがすきです」

「まゆゆゆ 「んなおんな、いるか?」

「さつくん 「どーかんがえても、ちゅーもん、おーいよー」

「ひまくり 「はえ、ずっとむかしの、れんあいえーがの、ひるいんのひとみたいですよー」

「すみっこ 「ゴリベンは、こいにこいしてる」

「なずなず 「じるはずもないげんをおぞ、おいかけてるんやわあ」

「ひまくり 「だれでもおげー、というのとちがつて、だれにもきょくみをもてないんですねー」

「さつくん 「おんなのひとに、きょーみはあるんだねー。ただ、りそーがなー」

「すみっこ 「かたおもいにならない、いちばんのもんだいは、そういうとこだとおもつよー」

「ゴリベン 「そんなすてきなひと、いませんかね?」

「ひまくり 「むかしの、れんあいえーがのなかになり、いますよー」

「さつくん 「くーそーのさんぶつだよー」

「まゆゆゆ 「けんどうのけいこにいつてくる。あきれた」

「すみっこ 「もうちょっと、いてあげて」

「まゆゆゆ 「つたりいな。なら、おなじのしゅみのあいてをすすめつぞ」

「なずなず 「ゴリベンさんのしゅみつてなんですやろかあ?」

「しゅみのおなじひとをさがすといいですよー」

「ゴリベン 「じくしょです」

「さつくん 「やつぱ、めがねだんしだー」

「まゆゆゆ 「んで、じくしょって、どんなほんをよんでもんだ?」

「ゴリベン 「あうがくとか、ぶつりとか、りけいのほんをなんでもよみます。」

「てつがくもすきです」

「さつくん 「うつ、あたまよさそー」

「なずなず 「だいがくのがくぶは、なにがくぶですか?」

「ゴリベン 「いちおう、ほうがくぶです」

「まゆゆゆ 「そうようだいがくの、ほうがくぶか。アンタ、あきらかにオレよりあたましいぞ」

「なずなず 「じゅうどうをやつてて、りけいで、じくしょかで、ほうがくぶせいで、」

「そのうえ、そのみためなんて、ぜつたいもてるとおもこますわあ」

「さつくん 「ゴリベンさん、つよそーで、それにおとこまえだよー」

「すみっこ 「ちよつときよわそりでおとなしそうだけど、」

つよそうで、みためは、かなりいいよ」

まゆゆゆ 「アンタ、おとこらしげビシッとした、そういうがいけんしてつや」

ひまくろり 「はえ、れんあいしょ～せつは、お好きですか～？」

ゴリベン 「そういうのは、すきというか、よんだことないです」

すみっこ 「ほんのせかいにいるようなひとを、おいかけてるわけとはちがう」

さつくん 「れんあいしょ～せつにでてくるようなひとを、とはちがうのかー」

まゆゆゆ 「じっさいには、そのでのほんにでてくるおんなをおいかけてるのと、

おなじことだつ」

さつくん 「アイドルは、すきなのー?..どー?..」

ゴリベン 「けつこう、すきなほうです。

まゆゆゆ 「ねこにシスターーズの、ももぞのななかのファンです」

さつくん 「あーゆーのが、このみなんだー」

すみっこ 「すみれも、アイドルって、けつこうすき」

さつくん 「どひやー、すみっこつて、アイドルのファンなんだー。いがいすぎー」

すみっこ 「うん」

なずなず 「アイドルのグッズなんか、かわはるんですやるかあ?」

ゴリベン 「はい、けつこう、あつめています。ファンクラブにもさんかしてます」

まゆゆゆ 「だいがくかていにかようとして、んなことしてやがんのか」

さつくん 「さつくん、おとこまえのスポーツせんしゅの、ファンになりやすいよー。

すきなせんしゅのモデルの、かつこいいグローブやシユーズがあると、

すきなせんしゅみたいになれるかもっておもって、ほしくなるかなー」

なずなず 「そおいえばむかし、けつこおいろいろ、しゃしんしゅうなんかをあつめたわあ」

ひまくろり 「あまいますくの、えうがはいゆーさんのでてるえうがは、

いつのじだいのでも、だいたい、めうかくだとおもいます」

まゆゆゆ 「なにいってやあんだか、おんなたちの、さっぱりわからんせかいだ」

なずなず 「アイドルみたいな、じっさいにあんまりいなさうなひとをもとめるより、

そおよおだいがくには、おんなのひとつですぐおおいですしい、

そおゆうところで、いろいろと、このみのひとをさがしてみると、

いいあいてがみつかるとおもいますよね。

それと、おもいもしなかつたタイプを、すきになる」とつて、おおいです」

まゆゆゆ 「とにかく、ほんをよむんをやめる。んで、もつとひととのでいをだいじにしゅ。

それと、アイドルの、ももぞなんとかのグッズもぜんぶする。

どうも、アンタはほんのよみすぎだ。」

さつくん 「じゅーじーぶの、おんなをねりとこーめる」

まゆゆ 「それもひとつで、かもな。

そういう、たいいくかいの、あせくさいおんなつていう、  
げんじつじみたおんなに、あんがい、きがいくかもしけねえ

さつくん 「あせくさい、けんどーぶのおんなは、ねらつかやだめだよー」

まゆゆ 「んだといり」

ひまつり 「ひまつりからみて、まゆゆゆゆゆさんのおゆうとくりだとおもいますー。

まゆゆゆゆゆさんのおゆうとくり、ほんばつかりよんでは、  
あんまししないほうがいゝかなつておもいますー。

れんあいえーがみたいなせかいもたのしくですが、げんじつにいるひとたれも、  
みなさん、すてきだなうつて、ひまつりはおもうんですー

なずなず 「なずなずからば、もうとくにいうことはないやるかなあ。

「ゴリベンさんは、あたまがよくて、うんどうもとくいですしおのこことせかいけつすれば、それでもんたいはなくなるとおもこますわあ」  
みためもさつぱりしてますし、りそおはちょっとたかいみたいですが、  
すみつこ 「げんじつをみたほうがいいよ。それと、いいあいてはぜつたいみつかる。  
にんげんて、いいあいてがみつかるようになりますー」

さいじにいうと、あたまのいい、うんどうもできるめがねだんし、もてねよ  
「わかりました。みんな、ありがとう。もうちょっとげんじつをみます」

ひまつり 「じりべんさん、またきてくださいね。にこにこー」

すみつこ 「しつかりとしたひょうじょうで、スマイルからかえつていい、ゴリベン」

さつくん 「うーん、きょーは、ちからになれたなー」

なずなず 「まゆゆゆくんも、おんなのこに、きょおみをもちいやあ

まゆゆ 「つたるい」

ひまつり 「はえー、もてるのにもつたないですー」

まゆゆ 「つだらねえはなしがおわったことだし、けいじにいってくわ」

さつくん 「けーこさんとこにいくのー?」

まゆゆ 「てんねんかオマーは。じゃあな」

すみつこ 「スマイルからでていこうとする、まゆゆ」

さつくん 「まゆゆゆさんて、スマイルにくるときに、よく、けんどーあすがたでニヤー」

ひまつり 「はえー、まゆゆゆさん、きょーも、けんどーあすがたですー」

まゆゆ 「つせー、きがえるの、たりーんだ」

なずなず 「そおよおにはホンマに、こせえてきなかつこのだんしが、おおいやんなあ

ひまつり 「はえー」

すみつこ 「うつむきをむすがたの、すわらぶいんもいね」  
ひまつり 「おみゆゆゆゆやんむ、すわらぶはまうねど、  
すまじるにくるとき、おねしすがたになんですかねー」

わいくん 「ニヤハハハハハハハハ、おみゆゆさんの、おわしすがたですかニヤー」  
あゆみ 「うて、おじいさん。くんなじと、やつやつすんな」

すみつこ 「やつて、ぐわのわ」

わいくん 「あー、おといのひとかわ、スマイルのひとたちあては、うがみがとくじてねー」  
ひまつり 「はえー。うぶれたーですかー」  
わいくん 「なになに・・・。」

おんなのひとに、きわむをいって、うまくいかなかつたのですが、  
いっぽまえにすすめで、よかつたとおもいました。

このちようしで、うつぱおつすすんでこきたいです。『うつべんや』。  
きれーで、あつかりしたじだなー。セーかくがあらわれてねよー。  
でも・・・うーんー、うめくいかなかつたのかー、うーんー」  
なあなず 「でも、『うつべんや』もかいてせぬとおり、あえにすすめたんやわあ」  
ひまつり 「はえー、よかつたーって、ひまつりはおもーおすー」  
すみつこ 「すみつこのおめちしきしゅう」

『うつべんは、アイドルのティーシャツすがたで、こくつた』  
みんな 「つて、やつが、あのファッショセンスがー。」

[care-cafe : smiley-smile : 04]

「うつべんをよむんをやあ。んで、もひとむととのだいだいじにしほ。  
それと、アイドルの、わわわなんとかのグッズもせんぶすてり。  
じいも、アンタはほんのよみやれだ」  
「げんじつをみたびつがいこよ。あと、ここあこてはせつたじみつから。  
にんげんて、いいあいてがみつかるよいじでかしてねこきもの」  
「れんあいえーがみたいなせかいわたのこへですが、げんじつはうねむとたかわ  
みなさん、きてきだなうつて、ひまつりはおもーんですかー」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまぐり 「あの、まゆゆゆゆさんて、めがねをとると、どんなかんじなんですか~?」  
さつくん 「わいきんはめがねとったのみでないかな~。」

けど、はずすとけつこう、びけーだよー」

すみっこ 「すみっこのはめちしきしゅうにも、びけいってかいてある」

ひまぐり 「すみっこさん、なんでそんなことまでかいてあるんですか~?」  
すみっこ 「すみっこさん、なんでそんなことまでかいてあるんですか~?」

すみっこ 「まめちしきのことは、まかせて」

さつくん 「うーん、そこまでくわしいと、なんかこわいなー」

すみっこ 「そして、べつのひ」

さつくん 「うーん、まるいてごるなおおきやのものをみると、

まゆゆゆ 「まゆゆゆの、そのみけんにストライクさせたくなるなー」  
まゆゆゆ 「おいつ、そんなこといいながら、てつのたまをみるなつ」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまぐり 「いででででででででー、うでがー」

さつくん 「どしたのー?まゆゆゆに、うでをぼくとーで、おられたのー?..」

まゆゆゆ 「おいつ」

ひまぐり 「いえー、わいきん、ひだりうでのちょいしがわるくてー」

なずなず 「だいじょおぶなん?」

まゆゆゆ 「リハビリうけてんのか?」

ひまぐり 「はいー、まいにち、にじかんくらい、りはびりしてますー」

さつくん 「じんどれー」

まゆゆゆ 「けつこう、やつてんだ」

なずなず 「リハビリって、いたいん?」

ひまぐり 「はいー、いたいですー」

みんな 「・・・・・」

さっくん 「いつなおるんだろう・・・傷

「ハセマ、おまえのわがまま——それはもう我慢せねばならんのだ」

[ care-cafe : smiley-smile : 05 ]



まゆゆ 「あたないラーメンやに、くいにいつた」

ひまぐり「はえ、なんで、きたないとこなんですか～？」

まゆゆゆ 「きたないとこのほうがうまいっていうだろ」

さうくん  
ふふふふふふふふ  
ふつう、なつう、  
ひひひひひひひひ

「あ、ひでのおんなのりは、ダメおおむつたん? 」

まゆゆゆ 「どちゅうで、おこつてかえつ

やつら 「どうや——おなかがよじれ——

なずなず 「はつデータで、そらないやろお」「

まゆゆ 「なんでおこったか、いまでもわからねえ

すみっこ 「じぶんがおんなともだちと、ともだちどうしとしてどちがい、

デートとしていつたことにつづいていない、まゆみ

ひまわり ひまわり、きたないあなたはらうめん、すきです！」

おはなは - ひまのや」 よくねかでやかる おれと おかあいを「

マツザワ「うん、なんとなく」

さつくん 「ダメダメダメ！ ぜつたいさんこうにしちやダメ！ どひやひやひやー

ひまぐり「なずなずなずさんの、はつデードはどうだったんですか？」

なずなず「ちよつととおいと」にある、テーマパークやつたで、

クルマでおくりむかえしてもらつたわあ。

で、ひとつおなまのはせんぶ、やおじしてもりつたでえ、

すみっこ「スマート。おんなごころがわかつてゐる

さーくん、ケルマかい、おどなだなー! おひめさまみたいだなー!」「マソニヨヨシカ、のうじしらニソニラジニラガラハラ

なすなす ランチミさんせ んに まんぢは したかと です やるかあ？  
あくま 「おーえ うの シルバ」 サラヤは です じが二

すみっこ「いま、わだいになつてゐるののものなんかこのゆにいこう、つておそうと、

あいつも、きょうみをもつて、おれんかにこゝかになつてくれるとおもひ。

そういうてんでも、ゆうえんちはおすすめだよ」

マツチ三「わかつた、そうする」

さくさん ひは おなじき 一とんやをいかほとこよー

さつくん「どうひやひやひや

「またない、くしかつやせんにじきたいです〜」

「おう、ひまはおれのなかまだ。さすが、わかつてやがる」

「もうちょっととふんいきのいいとこで、パスタなんかのイタリアンの、

がくせえさんでも、きがるにはいれるところがおすすめやでえ」

「ハンバーガーでもいいよー。ファーストフードとちがつて、

ちょっとおしゃれで、ちょっとおたかめな、おじしーといー」

「ゆうえんちのなかで、なにかえらんでたべるのもわるくないかな。

「きたない、いーといんの、ぴややさん、いきたいです〜」

「そこは、ぐつにきたなくなくていいとおもうぞ」

「マッチヨさんは、たいいくかいいで、ドンとかおえるせうやから、

デートちゅうにグイグイひつぱつてつていくくらじやと、

あいてのひとからの、ひょおかがあがりますよお。

おんなのひとのきもちをわかつてはるひとに、ひつぱられぬのつて、

おんなのひとは、うれしいとおもうわあ」

「おとこのは、デートしてるあいだは、

「およわいでどんどん、そなばできめてくとかつこじよ。

おどおど、おじおじはせつたいダメ。なにがあつても、およわない」と。

したしらべを、あらかじめちやんとしておくのも、わすれないで」

「ひつぱつてくおとこかー。まゆゆには、ふりまわされるのやだなー」

「なんだといら」

「じひやひや、じんじやまやひつぱつていかれぬことにならぬよー」

「おじつ」

「おれになんでもまかせてつていうくらじで、ひつぱつてつてくれる、

そおゆうおとこのひとつて、かつこええですよお。

「わかつたそらする。みんなありがと」

「まつちよせくん、またきてくださいねー。にこにこー

すみつこ「じしんをもつてスマイルからかえつていぐ、マッチヨ」

「あよーは、ちからになれたなー」

「さんざんバカにされたが、やくにはたてたが」

「はんめんきょーとしてだよー」

「んだとおじつ」

「わつくんちやんは、まつデートにじくとすれぱざいにこわたいん?」

「まづなず「わつくんちやんは、まつデートにじくとすれぱざいにこわたいん?」

さつくん「タイヤキのテーマパークいつて、

そこでおひるはタイヤキのフルコースをたべたいよー』

みんな一ヶ月おもくやうにらかよひ一.

すみつこ「そして、べつのひ

さつくん 「なにに・・・。」

「よかつたわあ、ちからになれたんやわあ」  
ぎれいなおみせをまねて、おんなのじ、いわくわあした。マツヨミより

ひまわり「あつあつのできたでです」

「うて、オメーハヒトおおこちやー。」

[ care-cafe : smiley-smile : 05 ]

「テートちゅうにグイグイひっぱつてつてこくへりこやと、  
あいてのひとからの、ひょおかがあがりますよお。  
おんなのひとのきもちをわかつてはるひとに、ひつぱりれるのつて、  
おんなのひとは、うれしじとおもうわあ」  
「おどりのひとは、テートじてゐあいだは、  
まよわないでどんどん、そのばできめてくとかつこいよ。  
おどおど、まじまじはぜつたいダメ。なにがあつても、まよわなこいと。  
したしらべを、あらかじめちゃんとしておくのも、わすれなこいで」

おんなのひとのきもちをわかつてはるひとに、ひつぱりれるのつて、

「指」といふのひとは、アーティストであるあいだは、

おやわないと、どんぐり、そのはできめてくとかくいふ。

したしらべを、あらかじめちゃんとしておぐのも、わすれないで

すみっこ 「やして、べつのわ」

ひまつり 「あの、おゆゆゆゆゆゆゆゆめへん」

まゆゆ 「あきりかに、ゆがおおこや」

すみっこ 「やして、べつのわ」

ひまつり 「あの、ゆゆゆゆめへん」

まゆゆ 「いんじは、まがぬけてるわ」

すみっこ 「やして、べつのわ」

ひまつり 「あの、たいやきだらすめへん」

さつくん 「で一ちゃくしめーだなー、そのあだなー」

すみっこ 「やして、べつのわ」

ひまつり 「あの、なすなすなすなすなすめへん」

なすなす 「ひまわりちゃん、そのよびかた、わざとかいなあ？」

すみっこ 「やして、べつのわ」

ひまつり 「あの、ななななずめへん」

なすなす 「ひまわりちゃん、そのよびかた、わざとかいなあ？」

すみっこ 「やして、べつのわ」

さつくん 「きよーは、ひまーりがくるのがおやいなー」

なすなす 「もお、ゆうがたやでえ。しんぱいやわあ」

ひまつり 「ひまつ」

まゆゆ 「ね、きたか。ひまつ。どうした？おそかつたぞ」

ひまつり 「はい、みちにまよつておした」

さつくん 「ちなみに、なんじかんくらいまよつてたの一？だいたい、おちはみえてるかどー」

ひまつり 「はい、がつこへのいりぐちから、すまいるまで、じじかんです」

みんな 「やつぱりつー」

ひまつり「おうちから、がっこにつくまでに、ななじかんまよいました」

みんな「えっ、そこからっ!?

ひまぐり 「あしが、がくがくです~」

みんな「つて、いつ、いえをでたんだつー?」

すみっこ 「そして、べつのむ。すみっこのおめちしあしゅう。

そういうではないま、だてメガネと、ツインテールが、はやつてゐる」

ひまわり はえう。まぬぬむさんのがねにて  
たてをかけてらうしやるんでしょうかう?」

おぬはく、レバスヒテのほんものが

ふたつでおもひて、みかどひだりについてるよねー。これはねー、ぶかつのみか、

ほーしをかふーてもたいじよーふなよーにふーせー

「世の二サバ。どうかうか。」

ひまわり「はいとみのとおると、いそがりみると、おとれーとくあみたいで、すてきです~」

なずなず 「ながくてきれいなところに、あこがれをかんじるよ」

さつきん「ひまーりの、あたまのうえのほーでくくつて、おーどーのツインテールだねー」

ひまわり はい。 おどこの、 てばんの、 べたな、 ついんてるです。

あらぐんすみこのてごへんあたりのせよことだけはねてゐたいたいのもかねい！」

やつくん「えーしらないのー?そーかーリボンをつかうのが、いまのはやりなんだよー

なずなず 「ハハ、もうちょいと、じょしを、よくみてほしいわあ

まゆゆ「ひりねえや、んな」と

ひまわり「まゆゆさんも、ついんでるにしあしょか?」

せいかん そいた そいた そいしやおー

みんな  
「あははははははははつ」

すみっこ 「あいつていうのは・・・心からしんじられる」と  
なずなず 「なら、なずなずがもつてるのは・・・愛とちやうんやわ」  
「わ

「せいかくと、じんせいなんてかえられんのお?」

[ care-cafe : smiley-smile : 06 ]

すみっこ「やのよのがつじのちかくで、じしんがおきたひのスマイル」

なずなず 「ブ————ツ！ げほつげほつ。 ごはつごはつ

まゆゆゆ 「なんだ?ひまのつくつた、あたりか?」

なずなず 「みたいやわ。」しおと、わさびと、とおがらしをまぜたみたいなあじやつた」

わのくん「じゃやひやひやひや。

スマイルの「コーチングメニューは、どうみたいなもんですニヤー」

すみつこ「田シアンルーレットともいう」

なすなす でも ふしきどのみたくなるわあ

まゆゆゆふしきなもんだ

ひあぐりはえりおおきなぐるんである。

すみつい」「スマイル」、おおむねの心がやめて書いた

じよし「ひま。あたし、トガフジをすうのがやめられないんだよねえ。どうしようかあ？」

まゆゆゆ  
「んどのいちげんはどんなやつかとおもえば・・・。

バカかテメーは。んなもん、こんじょうでやめる」

ひまぐり 「どうやらしゃんく、ひまぐりもからいのはすきですか、よくつかいます」

さつくん「そこのかたー。トガラシとべつのトガラシをまちがえてますよー」

ひまわり 「がんがんつかいます」

まゆゆゆ「こ」のまえヶチャップのかわりに、ちょうみりょうとして、

トガラシだけかけられてつくられてるオムライスをくわされたぞ』

すみつこ ひまりはトガラシつかいすぎ

で、かつこうでトガラシなんかすると、

「うすればかられるかよ?」  
「うすれどかいよ?」  
「うすれどかいよ?」

トガニシ：どうすればやめられるかなあ？

それが「やめど、うし」や「トヨの井戸す」に「お

トガラシ  
「びょういんかあ。ひょうかかるんじやない?」

なずなず 「なずなずも、むかし、トガラシすつてたでえ

まゆゆゆ 「おい、それほんとのはなしか?」

さつくん 「いがいすぎー」

なずなず 「ほんまやで。ベビートガラサーやつた」

さつくん「ベビートガラサーっていうの、

わいきょーのぶきのなまえみたいだねー。かつこいー

ひま～り 「かつこじ～です～」  
トガラシ 「どうやつてやめたわけ？」  
なずなず 「ふくししせつに、にゅうしょしてたときに、やめられた。  
あそこ、すえへんから」

さつくん 「えー」  
まゆゆく 「マジか」  
なずなず 「マジやで」

さつくん 「なずなずに、そんなかこがー。  
なずなずは、とびきゅーで、だいがくいんせーになるくらいだから、  
ちよーゅーとーせーなんだとおもってたよー」

ひま～り 「はえ～？」  
さつくん 「んー。でも、ふくししせつにいくわけにもいかないかー」  
トガラシ 「ふくししせつかあ、いやだなあ」  
なずなず 「やめるには、せいかく・・・こんぽんできなかんがえかたを  
かえるのがいちばんかなつて、なずなずはおもうで。  
なんでかつていうと、まゆゆくんのゆうとおり、  
やめるには、こんじょおがだいじやから。

そのためには、トガラシさんは、やんちゃなおんなのひとみたいやし、  
かんがえかたをかえるために、やんちゃさをかえるといいかな。  
それと、やめるためには、トガラシをキッパリやめて、じぶんと、  
じぶんのじんせいをかえるんやでつていうくらいのきもちで、いどむとええで。  
をおすることで、やめようというきもちを、つよくもじるんやとおもじます。  
そおゆうきになることができないなら、  
なずなずのいうようなやめたは、もりやとおもうかなあ」

まゆゆく 「だとよ」  
トガラシ 「せいかくと、じんせいなんてかえられんのお？」  
なずなず 「じぶんでいうのもなんやけど、なずなずは、かえられたで」  
まゆゆく 「テメーはどうも、トガラシをやめるのに、ほんきでとりくむきがねえらし」  
トガラシ 「そう？」  
まゆゆく 「わかんねえやつだなつ。そんないいわけばつかしてつと、  
いつまでたつてもじぶんをかえることができねえんだつー。  
いいわけばつかのやるきのねえやつに、  
まともにあいてするヤツなんていねえんだぞつー。  
んなこともわかんねえのかバカおんながつー！」

トガラシ 「ああ？ええ？そう？あんま、おこんなよ？」

まゆゆ んだテメー! ちつたあ、はんせいくらいしるべ!

わいくん まほめめー どんあーい エカ「シわんせー」

が立たずおなづまし心かれどモ

アリスの心のなかには何か

そんなかんがえだと、まゆみのいうとおりだよ。かわるのはむり

トカニシ あーはいはい!! もういい

おまけに「あらひがくマイン」など、カラハ

「それがいいからいい、また物語りたいからね。」

まゆゆゆ 「くそが。つざけたおんなだつた。にじとくんな」

わいくん「ああゆーひとつて、ずっとあのままなんだろーなー。

うーん、もう一歩けりもうく、たすけ

卷之二

すみつこ「そして、べつのひ

さつきん 「あー、おんなのひとから、スマイルのひとたちあてに、てがみがとどいてるー」

ひまり 「はえ？ らぶれたらですか？」

さつくん なになに 。。。

みんな「・・・・・・・・」

[care-cafe : smiley-smile : 06 ]

じふんと  
じふんのじんせいをかえるんやで「じふんのじんせいをかえるんやで」

そんないいわけは、かして」と

- すみっこ 「そして、べつのひ」  
じょし 「ひまりちゃん、いつしょにしゃしんとひて」  
ひまくり 「はい。にこにこ」  
だんし 「ひまりちゃん、サインかいてよ」  
ひまくり 「はい。にこにこ」  
さつくん 「ひまーり、もてるなー」  
なづなづ 「なづなづだけのものにしたいいいい」
- すみっこ 「そして、べつのひ」  
なづなづ 「ひまりちゃん、このぼおしを、かぶつてほしいわあ」  
ひまくり 「はい」  
なづなづ 「つぎはあ、このふく、きてえ」  
ひまくり 「はい」  
なづなづ 「にあつてゐる「ひ」、かわいいいい。つぎはかみがたをかえようねえええ」  
さつくん 「ひまーり、おもちやにされてるー。」  
ひまくり 「はえー。いやとちがいますよー」  
すみっこ 「「ひ」がひるい」  
さつくん 「まゆゆゆに、おんなのこのふくをきせかえをすると、  
あんがい、そのきになつてもひえぬよー」  
まゆゆゆ 「つて、おいつ」
- すみっこ 「そして、べつのひ」  
まゆゆゆ 「おい、なづ。すうがくの、このもんだいをおしえてほしい」  
なづなづ 「このもんだいはやねえ、なんたらかんたら」  
まゆゆゆ 「そつか、ありがと。で、このもんだいの「うしきが・・・どうたらうつたひ」  
なづなづ 「「うしきが・・・どうたらうつたひ」もんだいの、「うしきはやね・・・ふんだいらはんだい」」  
ひまくり 「はえー、なづなづなづさん、あたまいーですー」  
なづなづ 「そんなことあらへんでえ」  
まゆゆゆ 「あたまがよくないなんて、とびきゅうのだいがくいんせいがいっても、  
あんま、しんじられねえこつたぞ。」  
だいがくいんに、にゅうがくすつたために、やうとひ、がんばつたんだる」

なすなず 「そんなに、がんばってへんでえ」  
すみっこ 「ほんとは、とてもがんばったのに、ひかえめな、なすな」  
さつくん 「すーがくかー。そのことばをきくだけで、ずつーがー」  
まゆゆゆ 「なすにおしえてもらえ」  
なすなず 「ひまわりちゃんも、どんどんきいてなあ」  
ひまわり 「はえー、じゃー、くくの、にのだんをおしえてぐだわいー」  
みんな 「えつ、みんなからつー?」

すみっこ 「そして、べつのひ」  
まゆゆゆ 「オメーひ、ちゃんとべんきょうしてやがんのか?」  
さつくん 「うーーーーんーーー、べんきょーかー。さつくん、おちこぼれだからー」  
まゆゆゆ 「んなこときめつけんの、まだまだはええだろ。ぐだつてねえで、がんばれ」  
さつくん 「じゃーがんばるー」  
すみっこ 「すみっこのはめちしきしうう。

ひまわり 「そやねえ」  
なすなず 「はえー」  
さつくん 「ねーすみっこー。なんでそーよーつて、こんなへんながっこーなのー?」  
すみっこ 「せいとかいちょうが、かわつてから、おかしくなつた。そこがかんけいしてる」  
まゆゆゆ 「せいとかいちょうか。アイツのことだな。アイツ、なにかんがえてやがんだ?」  
すみっこ 「なにをかんがえてるか、すみれにもわからない。でも、わるいひととはちがうよ」  
なすなず 「そおよおだいがくと、だいがくいんかてえのほおは、けっこおふつうやでえ」  
ひまわり 「はえー、かわつてるのつてー、ひまわりたちの、かよつてるかてーだけですかー」  
すみっこ 「でも、ここでは、みんなのしくて、いきいきして、いじめなんかないし、  
もしかすると、とてもいいがっこうなのかもしれないと、すみれはおもうんだ」  
さつくん 「そーだねー、そーともいえるよー。スマイルにくるあいだのほかに、  
あさからゆうがたまで、ずっとぶかつしても、  
だれもさつくんをおこらないんだー。そーかんがえると、いーとこだよー」  
すみっこ 「こーそくは、ふたつ。みんなにめいわくをかけないこと、と、トガラシげんきん」  
さつくん 「こーそくが、あつてないよーな、へんなとこだけど、いーとこだよー」  
なすなず 「いつもおもうねん。そおよおの、ここのかてえにこれで、ほんまによかったわあ」  
ひまわり 「ひまわりも、そくよーにこれて、よかつたですー」  
まゆゆゆ 「だな」

なすなす 「そんなめで、みてくるんやね・・・憎しみにみちためで」

「……おもてなしの心、おもてなしの心がなかったら絶対に出来ないんだ」

[ care-cafe : smiley-smile : 07 ]

すみっこ 「たいやうのひかりで、まぶしい、ひぬびやのスマイル」

まゆゆ 「わく、オメー、レギュラーめざしてんだる、プロテインでものんびれ。

からだをうごかしたあとにのむと、きくりしこや」

さつくん 「どひやひやひや、なにいつてんのー、

たんぱくしつくらい、いつつもタイヤキからとつてるよー」

すみっこ 「すみっこのはめちしきしゅう。タイヤキにはプロテインは、はいつていなー」

さつくん 「えー、そーなのー? さかなのにくには、

プロテインが、たくさんはいつてるんだとおもつてたよー」

なずなず 「タイヤキには、タイのすりみが、つかわれてるわけとはちじたようなあ」

さつくん 「そーなのかー、しらなかつたー」

まゆゆ 「このまえ、ひまが、タイのすりみでタイヤキつくってたぞ」

さつくん 「そつかー、それでかんちがいしたんだよー。ほんとのタイヤキだー」

すみっこ 「あるいは、かなりのじちそうだね」

ひまぐり 「はえー? あ、おきやくせんですよ。ひまー。にににー」

ひども 「にんにちはー、ひま」

すみっこ 「おさない、おとこのこがやつてきた」

なずなず 「ひまあ。ちつちやい、かわいいおきやくせんやわあ」

ひまぐり 「ちびちびさん、まずは、こうしうぐうぬうでもじうぞー」

チビチビ 「ありがとお。じくじく、おいしぃ。おいしいなあつ」

さつくん 「じくじくとちがつて、そこはせひ、ちびちびとのんでほしかつたなー」

チビチビ 「おかしちょうだー」

ひまぐり 「はいー、じうぞー」

すみっこ 「チビチビに、そのまんま、かぐぞとうをしてわたす、ひまり」

チビチビ 「かりかりかりかり。おいしい、おいしぃ。おとうみたいなあじがするー」

まゆゆ 「つはははは、そりやそりだ」

なずなず 「ふふふふ。それで、かわいいおきやくせん、なにかはなしでもあるんかなあ?」

チビチビ 「ぼく、いま、しようねんやきゅうやって、そこでレギュラーになれないんだ」

それで、いままでやつてたのを、もうやめようかなつておもつてるんだ

まゆゆ 「つだらねえな。やめるかどうかはあとできめる。

いまはうまくなることだけかんがえろ」

さつくん 「そだよー、せつかくはじめたのに、やめるのはもったいないよー」

なずなず 「こおこおせえくらいで、やるスポーツをかえるのはどおかとおもひで。

でも、ちびちびくんくらいの・・・しょとうかいていの・・・くりじ?なり、

まだかえてもいいかなつて、なずなずはおもうかなあ

- まゆゆゆ 「やきゅうでつうようしねえやつが、  
サッカーやバスケやって、つうよかかうとおもえねえ」
- なづなづ 「つうん、そおやねえ、そおいわれるとおやね  
さつくん 「すみつこは、どーおもうー?」
- すみつこ 「まゆみとおなじかんがえだよ。やきゅうがつづかないのに、ほかの」とをしても、  
レギュラーになれるような、やういう、いいけつかはえられない。  
それなら、いまのしようねんやきゅうをつづけるべきだとおもつんだ」
- なづなづ 「ひまわりちゃんは、どおおもうん?」
- ひまわり 「はえー、しあいにでれなくとも、  
すぽーつをつづけてるひとたちって、たくさんいますしー、  
すぽーつをしてるひとたちから、おはなしをあくのはじへでしょーかー?」
- なづなづ 「うん、そやね。スポーツをやってる、
- まゆゆゆ 「まゆゆくんど、さつくんちゃんはどおなん?」
- まゆゆゆ 「おれあ、いまは、けんどうでだんたいせんのメンバーになつてつけど、  
だんたいせんにでれなかつたじきでも、やつぱ、けいこはちゃんとしてたや。  
しあいにでれなくても、はをくいしばりでけいこしてたから、  
いま、しあいにでれんだ。だから、チビチビもいまはこんじょひやりわれ」
- チビチビ 「うん、そうだね。ならがんばる」
- まゆゆゆ 「つて、なつとくすんの、ずいぶんはええぞ」
- なづなづ 「まゆゆくん、だんたいせんのしあいで、なんばんめにたたかうせんしゅなん?」
- まゆゆゆ 「ちゅうけんをやつてつぞ。まあ、そんそんのうでまえつてこつた。  
それとな、この、さつきからずつとタイヤキくつてる、さつくんとおねえさんは、  
レギュラーになれなくともソフトボールをつづけてつぞ」
- チビチビ 「さつくんおねえさんは、なんでレギュラーになれないのに  
ソフトボールをつづけてるの?」
- さつくん 「んーっんんん、なんでかなー。よくわかんないなー」
- まゆゆゆ 「ソフトボールがよほどすきなんだろ」
- さつくん 「そだねー。すきでやつてることに、りゅーは、いらないんだよー。  
それと、しあいにでれなくとも、  
ソフトボールをつづけることで、おなじぶかつのもだちもでやねし、  
がつこうにくるのも、たのしいとおもえるからかなー。  
あとやつぱり、さつくんはからだもそんにおおきくないしー、  
さいの一があるかどーかもわからないんだー。  
ピッチャーはエースになるのもたいへんだけど、

でも、いつかしあいにでれるとしんじてるから、  
がんばってつづけられるのかなっておもうよー」

すみっこ 「かなえたいもくひょうがあるから、つづけられる。  
スポーツにかぎったことと、ちがうよ」

さつくん 「チビチビくんも、しあいにでるつていつもくひょーをもつて、  
それにむかってがんばるー」

なづなづ 「さつくんちゃんて、いつからソフトボールやつてるん?」

さつくん 「ちよつとまえからだよー」

ひまぐり 「はえー。ずうっとまえからだとおもつてましたー」

さつくん 「むかしは、しょーねんやきゅーのチームにはいつて、  
まゆゆゆ 「そこでれんしゅーしてたよー。まわりは、おとこのこばっかだつたー」

さつくん 「それで、おとこみてえなせいかくにそだつたつてわけか」

チビチビ 「んなわけあるかーいー。どひやひやひや

さつくん 「そこのチームで、レギュラーになれたのー?」

ひまぐり 「ううん、むりだつたー。でも、やきゅーはすきだつたよー」

チビチビ 「ちびちびさんは、やつぱりやきゅーをすきなんですかー?」

チビチビ 「やきゅー、だいすきだよ。しあいにでれないのがいやなだけ

さつくん 「だいだとか、しゅびがためで、  
しあいにだしてもらえるかもしれないし、がんばるー」

まゆゆゆ 「やきゅうがすきなんだる。いま、しあいにでれねえくれえであきらめんな。  
なにも、こうしえんめさせとか、プロになれつていつてるわけじゃねえんだ。  
がんばれば、もしかすつと、チビチビだつてプロになれることがだつてあつぞ。  
それに、そういうのソフトボールぶんて、ぜんこくたいかいにでるくらいい、  
レギュラーになんのも、れんしゅうも、きついとこなんだぞ。  
さつくんおねえさんはそれでもつづけてんだ。

チビチビなら、ぜつてえしあいにでれるようになつから、  
やめずにつづける。おとこだる。

とちゅうでなげだすようなやつなんて、どうせ、なにやつてもつづかねえ  
「そーだよー、まゆゆゆのゆーとーりー。」

さつくんのいるソフトボールのぶかつは、  
レギュラーになるの、とつてもきついんだよー。

でも、チビチビくんなら、がんばればきっとしあいにでれるよー  
「わかった、じゃーがんばるよー、

けんどうのひとと、タイヤキたべてるおねえさんたち、ありがとー」

チビチビ

さつくん

ひまへり 「ねおねおおやん、またきてくだわらねー、にんじんー」

すみつこ 「せんせはスマイルからかえってこぐ、チビチビ」

さつくん 「うーん、きょーは、ちかりになれたなー」

ひまへり 「あのー、まゆまゆまゆまゆさんー、

かんどうをやめよーとおもったこと、おねんですかー?」

まゆまゆ 「じつかじもねえ。しんじくても、オレジしんのことを、

んじょーがねえとおもひのむ、おもわれるのも、ぜってえいやだつた」

なずなず 「わつくんわやんは、やおゆー、やめたじつて」と、かんがえたことあつたん?」

わつくん 「ねつちやいとわ、しょーねんやきゅーをしてたひる、チームのなかで、

まわりがおどりのじばつかりで、そのなかでおんなのにはじぶんだけつて、

じょーわのとわ、はじめてきづいて、

そーおもつたときには、やめたいなつて、ちよつとおもつたよー。

でも、やめたくなかった。まわりからじょーおもわれても、まけたくなかった」

ひまへり 「まゆまゆまゆわんと、わつくんさんー、

やつぱり・・・にたわのじうしなんですよー」

すみつこ 「わしー、ぐつのむ

さつくん 「あー、おどりのこから、スマイルのひとたちあてに、てがみがどどこー」

ひまへり 「はえー。ひぶれたーですかー」

わつくん 「なになに・・・。

レギューラーーーなえなかつたーーーだいだなれたーーチビチビ」

あゆゆゆ 「わつたねえじだな。しかも、じをまちがつてつぞ」

わつくん 「しあいにでれたんだよー。よかつたよー、よかつたー」

なずなず 「なずなずなんかでも、だれかのやくにたてるんやね。わうおもたわあ」

まゆゆゆ 「じょーだんでもなんでもなく、しょーひー、チビチビが、

プロやきゅーせんしゅになつかもしんねえー」

わつくん 「わつくんたち、プロやきゅーせんしゅになるのを、たすけたのかもしれなーー」

ひまへり 「たすけなつてー、なんでもないよーでーー、じつはすゞらのかもしれないでーー」

[care-cafe : smiley-smile : 07]

「やあやあがおねだりだね。こおー、しおこはやれねえくれんでおおのねんな」

「かたへたじわくらゅうがあぬかい、つづかひれぬ。スポーツにかわいたひよー、かがいぬ」

「わわわやうトモリスル、つまーせ、こみだこんだよー」

すみっこ 「そして、べつのひ」  
ひまわり 「わっくんわっくん。」

卷之三

あよ～むよ～の、たいやあやああつてうのをもらつてきました～  
やつくん 「やつたーつ! そりやすじくきたい・・・してだいじよぶなのー?」

まゆゆ 「わよむわよむだけあって、やたらでかいぞ」

ひまぐり「わっそく、たいさんの、かぶとやきをつくってみます~」

みんな「やつはそういうことになるかっ！」

すみっこ「そして、

ひまぐり 「はぐれ」

わいくん「ひまーり」で、あたまのなかに、  
ほんとに、のーみそはつてある。

まゆゆゆ 「おい、い、あんま、しつれいなこというな

ひまつり「せうじめおや。てめくみやー」

すみっこ「あはは。うおこうじや、ひめり

ひまわり みなさん せひり てまえみそをたへでぐなさい  
まゆゆゆ 「つはまほほは、つて、なまなましいぞつ、こらつー

「ふふふふふ。ひまわりちゃんなら、ほんまにつくりそおやわあ」「

ひまぐり 「じゃあためしに～おでんやんの～・・・

……ふがががががつ！くちをしめられました」  
みうは「心のこころ」、うとうづの「ゆうをみこめられるかつ！」

卷之二

すみっこ「やして、べつのむ」

ひまり てきました。ひまりすへしやるよんこ  
まゆゆゆ 「んだこれ。このにく、なんのにくだ?」

ひめり 「はにゅ～るじです～」

やうやん「まじめーね」といへる。

ひまゝり 一せゝふつぶのかたにたのんで、  
ほこゆるゝは、まつゆるゝは、

みんな  
「つて、いでんしそうさかよつ！」

すみっこ 「いまはわからなくても、ちょっとずつわかつていけばそれでかまわない。  
うん・・・知らないほうがいいことも」

「むかしむかし、昔々、かかはなつたうへんがくのうねり」

[ care-cafe : smiley-smile : 08 ]

すみっこ 「ほかほかよつやの、にじめかよじ、おひるのスマイル」  
さっくん 「ぐがーぐがー」  
まゆゆゆ 「さくのじびき、あいかわらすいのせえや」  
さっくん 「もつとタイヤキたべたーいー」  
すみっこ 「タイヤキをくちにくわえながら、タイヤキのゆめをみるやべり」  
ひまぐり 「はえー、タイヤキ、すじくすきなんですねー」  
なずなず 「イヤキをかみくだいて、のみにみながら、ねてるひー」  
すみっこ 「すじくきよくな、ねぞう」  
まゆゆゆ 「しゃあねえ、ねながらタイヤキくわすために、」  
わっちはと、タイヤキつくてやつてくれ  
ひまぐり 「はいー、わかりましたー。あ、おきやくせんですー。ひまー、にじめにーー」  
だんし 「んにちは、ひま」  
すみっこ 「じしんのなさうな、だんしがやつてきた」  
さっくん 「わつとくわせるー」  
まゆゆゆ 「ひまつ。さくのやつ、どんなんゆめをみてやがんだ?」  
ひまぐり 「げーじつせん、あたらしーめにゅーの、」  
おさとーと、はちみつと、さとーきびと、かんみりょーのそーだわりをじーぞー  
げいじつ 「ありがとうじわこまか。じーか、うん、おじしー」  
なずなず 「ええつ、おいしーん?」  
まゆゆゆ 「つまり、ふつうよりあまい、ソーダそのものってどーか。」  
ひまがつくったのに、うまいとは  
なずなず 「ひまあ。なにかおはなしですやるかあ?」  
げいじつ 「ぼく、じとしそつぎようで、そつぎよつしたあと、  
がいこくの、えのがつこくにじこくとおもつてるんだ。  
でも、おもいきつたことをするゆうきがなくて・・・」  
なずなず 「かなえたいゆめかあ。もくひょうをもつことつてだいじやとおむかいでえ。  
もくひょうにむかってがんばるから、せこひよつでおるんやつておもこますわあ」  
まゆゆゆ 「しつぱいはつきものだつておもつとけ。  
だが、しつぱいしてもやりなおしはあくや。」  
もうひとついうと、がしこくじつて、うまくいかなくて、  
もし、いつかげつでかえつてくることになつても、えられるものはあるはずだ」  
ひまぐり 「ひまぐりも、しつぱいしてもやりなおしがあくつてゆーのー、  
ほんとーだなうつておもいます。」  
しつぱいをこわがらないでー、がんばるのがいーんじやないでしようかー。

あとで、あ～しとけばよかつたつておもひの～、いやですしへ

「こなんえ、かいてるんだ」

「わあ、うまい」

「はえ～、じょ～ずです～」

「このうまさ、がかをめざすだけあつぞ。

かんがえようによつちや、がつこうなんていかなくてじゅうぶんつてくれえに」

「あはは、ありがとう、うれしいな。でも、うえには、もつとうえがいるよ」

「えのがつこう、もしかして、しゅうがくビザでいかはるんですやろかあ？」

「がくひなんか、けつこおたいへんやとおもうんですが、どおしはるんですか？」

「おやに、りょひと、がつこうのがくひと、

がいこくでの、せいかつひをだしても、もうつもりをしてるよ」

「はえ～、すゞぐく、ゆくふくです～、いりやまし～です～」

「そんなにゆうふくないえなんだつたら、

がかになつてもならなくとも、じゅうぶんくつてけつだる。

それにそれだけゆうふくなら、このにの、

わたくしりつのがつこうにでも、ほかのふつうのがつこうにも、

ちゃんとがくひをはらつてもらつて、いけそなもんだぞ」

「げいじつさんは、そおよおをそつぎょうしたあと、

かいしゃいんしながら、しゅみでえをかくつていうのは、どおなんでしょお？」

「どうせなら、がかになりたいんだ。それに、もつといいえがかきたい」

「じうせなら、か。かいしゃいんをしながらかいても、よさそなもんだがな。なんでそうしねえんだ？」

「え、がかになりたいからだよ」

「アンタ、ほんとは、がかになりてえんじやなくて、

ふつうのしじとにつきたくねえだけじやねえか？」

「ちがうよ、ほんとに、がかになりたいつておもつてね」

「そんなんに、がかになりてえなら、

このくにの、びじゅつけいのがつこうにでもいけ。

このくにのなかでも、がつこういつてるあいだは、はたらかなくてすむぞ。

それなのに、なんでがいこくの、えのがつこうなんだ？」

「でも、がいこくにいつてべんきょうするほうが、

もつとうまく、いいえがかけるようになるとおもひんだ」

「おもうんだ、か。そうおもうなり、もうい「う」とはねえ。

がいこくにでも、どこにでもいとけ」

なずなず 「まゆゆくん、もっとやわらかくいっただげでえ」

ひまく 「はえ、そもそもどうして、がかになりたいんですか？」

げいじつ 「そりややっぱり、えをかくのがすきだからなんだ。それでだよ」

まゆゆ 「すきにしる。えがかきたいだの、がかになりたいだの、

バカのひとつおぼえみてえにいいやがって」

なずなず 「たとえば、もし、びょおいんのおいしゃさんになりたくて、

それで、いがくぶにいくつてゆうんなら、

それはぜつたいにひつようなしんるになつてくるとおもいますわあ。

でも、がかになりたいなら、べつにがいこくにいくとか、

えのがつこうにしんがくするつていうしんると、ちごてもええんとちやうかなあ？

それに、ただ、えをかきたいなら、うまくてもうまくなくともいいからかいて、

ともだちにみてもらうとか、ギャラリーをかりてみてもらうとか、

いろいろとみちはあるし、いろいろとかんがえてみると、

ぜつたいに、がいこくのえのがつこうにいくつていう、

そういうひつようはあらへんのかなあとおもいます」

げいじつ 「・・・・・」

まゆゆ 「けつろんはアンタがだせ。アンタのじんせいだ。オレがいついつちやねえ」

すみつこ 「げいじつさんは、たぶん、えをかくしじととこうのに、

あこがれをもつてるんだとおもう。

その、えをかくためにひつようになることの、

がいこくの、えのがつこうにいくというのにも、あこがれをもつているががする。

でも、がかになることのげんじつというのは、あまくないとおもうよ。

それでも、えのがつこうとか、えをかくしじとというのをめざすのなり、

やつてみるのもひとつのかきかただと、すみれはそういうふうにおもうんだ

「はえ。ひまくには、ゆめつてゆうのがないんです」

ひまく 「はあ。ひまくには、ゆめつてゆうのがないんでしょくか。

ただ、ゆめをきぼうとしてもれば、それでいくんじやないでしょくか。

なくさず、みうしなわずに、だいじにこころのおくそこにしまつてあって、

こころのわさえにしておいて、それでかまわないきがします。

ゆめは、かなえようとするのとちがつて、

すつとむちつづけることがたいせつかなうつて、ひまくはおもいます。

だから、ゆめとしてもちつづけて、

あるてくど、じぶんになつとくがいくように、いつかなれれば、

がかさんには、なれてもなれなくても、

どつちでもいいのかなうつて、おもうんです。

でも、ひまぐりみたいなく、しょくじをたのしみにできないひとだから、

「おもつてしまふのかもしないです」

「がかなんて、くつてけるわきやねえ。」

「そのことをわかつたうえで、いつてやがんだ」

すみつこ 「おとなのひとにきけば、だいたいのひとは、ゆめをかなえむところ」とを、  
げんじつには、むりだとうかもしない。

でも、じつさいにゆめをかなえられるひとも、ほんのぐくわづかにいる。

そこをめざすかどうかという、そのとには、せいかじはないとおもつんだ

なずなず 「なずなずたちがいふこと、それくらいやわあ」

げいじつ 「もつちよつとかんがえてみる・・・」

ひまぐり 「げくじつせん、またきてくださいね。にこにこへ」

すみつこ 「がつくりしながら、かえつていく、げいじつ」

なずなず 「ううん、せなかをおしてあげたほうがよかつたんやろかあ」

すみつこ 「きにするひつようはないよ。

しんろはじぶんできめるもので、そのためのじょげんはであった。

あのとしで、もう、しゃかいにすだつようなひともいる。

そういう、じぶんでかんがえられるとしだよ。

まだ、ゆめをおいかけていてもかまわないとしだとおもうよ。

だけど、なにも、がつこうなんかで、じどもがよくいわれぬよひに、

ゆめをおいかけることだけが、たやすいわけとむちがうと、すみればおもつんだ。

ただ、がいこくの、えのがつこうにいきたいといふことについて、

なずなのいうとおり、せなかをおしてあげるところのむわるくなかったとおもひ。

そのどちらがたらしいとおもうかは、

なずなと、まゆみのかんがえかたのちがいだよ。

それと、ゆめをおいかけているひとが、もじこにいれば、

そのひとは、げいじつさんの、せなかをおしてあげてたとおもうし、

そうすることも、まちがつていないとおもひ。

せなかをおしてあげる、あげないとじうじにも、せいかいはないとおもうんだ

まゆゆゆ

「そつか？かねもちのボンボンのもつ、あまつちよるい、

ゆめとはいえねえ、ぐだらねえげんそうだ。

おおかた、ふつうにはたらかなくても、おやのおかげでくつてけつから、

らへでたのしそうな、そういうじどとにつけつておもつてやがんだ。

くつてくのにひつしなり、わざわざがつこうじつて、がかになるうなんじつ、

なんくだらねえこと、かんがえつか」

なすなす 「さつきもゆうたことやけど、ゆめをもつことって、だいじなことやとおもうねん。

ただ・・・ゆめをもつことって、くるしいことやともおもうわ。

だつて、なすなすも、だいがくいんまでいつて、

おないどしの、ふつうのおんなのことちがうせいかつして、

それで、なんでこんなにがんばらなあかんのやるておもうもん。

でもそれも、なすなすは、あんましゆうふくとちやうから・・・しゃあないねん。

げんじつをみていくので、せえいっぽいなんやわ。

ゆめをもつて、それをかなえるために、すきこのんで、

だいがくいんにいつてるわけとちがて、もつとげんじつをみてかよつてんねん。

なすなすかつて、ほんとはもつとちがう、

あんなしごとにつきたいなつていうのもあつたし、

ずつとこころのなかにもつてたゆめを、

かなえるのがもりつてわかつたとき、ほんまにかなしかつた。

だから、ゆめがあるのに、げんじつをみなあかんのつて、

ほんまにくるしいとおもうんやわ。

ゆめをもつのつて、ほんまは、げんじつとのあいだで、

ただくるしむだけやとおもう。

たぶん、げんじつをみてないですむひととか、

げんじつをしらないでいてるひとだけが、

ゆめをもつて、みづづけられるんとちやうやるか。

そやけど、このかんがえは、なすなすがおもてるだけで、

ほかのひとはちやうかもしれん。

いまいつた、このこと、わかつてもらえたうれしいわ」

「はえ、くるしむだけなら、ゆめなんて、もたないほうがいんじょくか」

ひまわり

「そうか、くるしむだけか・・・。

むずかしいもんだいだな、オレからはかんたんにはなんともいえねえ。

オレあ、ひまといつしょで、ゆめつてやつをもつてねえんだ。

だが、なすはたいへんで、ひつしになつてやがんだ。

オレからは、たいしてたすけられねえが、げんじつてもんのために、

ひつしになつてんなら、なすをできるがぎり、たすけつぞ。

しつかし、さつきのやつ、もくひょうのために、

なんにもがんばつてねえようにみえた。

がかになりたいだのなんだの、にげるためのいいわけにつかつてやがるだけだる。

あんなやつ、たすけようつてきには、まったくくなれねえ」

なずなず 「げいじつせんが、えをかくのがすきっていうのは、うそとちやうし、

がかになるために、えをかいてきたっていうのも、ほんまやとおもう。なずなずは、そうおもてる。げいじつせんの、めをみて、おもたわん」

すみつこ 「なずなは、ほんとはげいじつせんのせなかをおしたかったんだ。

なぜかというと、なずなは、やさしいから。

でも、なずながいきたなかで、ゆめはおいかけないほうがいいって、そのことをわかつてたから、あえてげいじつせんに、

げんじつをつきつけることをせずに、げんじつをきにこせぬ」とをつたえたんだ。それも、なずながやさしいからなんだよ」

ひまぐり 「ゆめをおいかけることがだいじつてゆくのはく、うそとちがうとおもいます。なずなずなずなずさんがないってたみたいにく、ゆめや、もくひょうがあるから、せいちよくできるんだと、ひまぐりもおもうんです。

でもく、なずなずなずさんみたいにく、ゆめをよこにおいておいて、

げんじつのためにがんばることもだいじでく、

そくゆくことができるのは、

すてきだなうつて、ひまぐりはおもいます。

それとく、なずなずなずさんは、げんじつにむかつてがんばつてゐるのにく、かんがえかたのちがう、げいじつせんのせなかをおやうとおもつた、

そくゆく、なずなずなずなずさん、やさくしくなうつて、おもいますたく」

まゆゆゆ 「さつきオレがいつた、げいじつやつが、なんにもどりよくしてねえつてく、

そのことばはまちがつてねえつて、いまでもおもう。

だが、げんじつみてねえやつがゆめをもつつてく、

なずのいつてたことと、オレのいつたことは、にたよなことだとおもつてゐるし、

それに、なずがいいやつだつてえのは、みとめつぞ」

なずなず 「うん・・・・・。

まゆゆゆくんにそうおもつてもうれて、なずなず、うれしいわあ。

すみつこちゃんもありがとお・・・。

それと、ひまぐりちゃんもありがとお。

ひまぐり やつぱひまぐりちゃん、だいすきい。だつこやせでえ。わなわな

「ふげく、はぐがつよすきてく、ぐぬじくですく」

すみつこ 「ゆめにむかつて、がんばればがんばるほど、ゆめのなかからやめたときには、おちこみのおおきさはおおきい。

だから、ゆめをもとうとしないひともたくさんいる。

そして、ゆめをもつときは、おおぐのひとがあまいゆめをもつんだ。

でも、わからん、つらこみちをぬめとこでわって、  
それにむかってがんぜぬひとむじる。

すみれがおもうには、つらいゆめとかがい、あまじゆめをむつのは、  
ゆめをおいかけてるのとかがい。がんじつからにげていのだけだとおもひんだ。  
それと、ゆめをもち、それをおいかけるのがいいとか、わるいとか。  
そのこたえは、ひとによつて、それぞれなんだよ。  
じのせかいに、ただしきたえなんて、どこにもないんだ」

わくくん 「ぐがーぐがー、ぱくぱく。あまくとおこしーなー、  
えにかいたタイヤキー。ぐがーぐがー」

すみつこ 「そして、ぐつのひ」

さつくん 「あー、おとこのひとから、スマイルのひとたりあては、ぐがみがとじこしー」

ひまくり 「はえー。うぶれたーですかー」

わくくん 「なになに・・・。

いま、たんきりゅうがくで、がこにくでもなんでじます。じとせのかぐで、  
くねうしているものの、まいにち、じゅうじつしてじます。げいじつよつ  
あぬぬぬ 「ほんとにれでよかつたのか、いまでもねからねべ」  
なずなず 「げいじつせん、じゅうじつしてるつていうてはるし、よかつたんやねあ」  
ひまくり 「はえー、ひまくりたかって、なんのためにいんじでしょーかー。  
よけくなじとをいつてただけで、いちげんせんを、およわせてただけかなくつて、  
たまくに、ひまくりのいるいみが、わからなくななりますー」  
すみつこ 「ただしきたえなんて、どこにもないんだ」

### [care-cafe : smiley-smile : 08]

「たぶん、がんじつをみてなじゅむらととか、がんじつをじのなこでこてのひとだけが、  
ゆめをもつて、みつけられるとかやいやのか」  
「たあなずなあせんみたかにー、ゆめをじのじにおこりておこり、  
げんじつのためにがんぜぬいともだいじでー、  
わくくんとができるひとでこらのむ、あてもだなーへー、わまくつせぬわくまくー」  
「ゆめをわか、それをおいかけるのがじこじとか、わぬじこじとか。  
やのこたえは、ひとによつて、それぞれなんだよ。  
じのせかくに、ただしきたえなんて、じににもないんだ」

すみっこ 「そして、べつのひ」  
ひまぐり 「できました～、ひまりすペシャルドーナ～。  
かわのぶぶんがおいし～です～」  
なづなづ 「なんやこれえ？」  
まゆゆゆ 「ほんとにくえんのか？」  
ひまぐり 「いらっしゃん、たっぷりです～」  
すみっこ 「それのせいりょう、ねんだいものの、やくらのグローバー」  
みんな 「かわ、ひらくパーセントかよ～」

すみっこ 「そして、べつのひ」  
ひまぐり 「はえ～、このにもつ、おもたいです～」  
すみっこ 「ひまり、だいじょぶ？ かわりにもつね。ガシツ」  
ひまぐり 「すみっこさん～、ありがとうございます～」  
さつくん 「すみっこさんは、ばかりからですニヤー」  
まゆゆゆ 「おじこら」  
さつくん 「このてつのたまを、ワンパンみたいに、にゅりつぶせんりドキ～」  
まゆゆゆ 「つて、おじこ」  
すみっこ 「ガシツ。メリメリメリ・・・」  
さつくん 「わーすゞいー、つて・・・え？」

すみっこ 「そして、べつのひ」  
なづなづ 「みんな、きいてえ。  
まゆゆゆ 「なかにわで、シューティングスター・ダスマンのヒーローシャーをやつてたでえ」  
さつくん 「そよーつて、ほんとむちやながつこーだなー」  
ひまぐり 「はえ～、ひまぐり、しゅくていんぐすたうだすとまんさんの、  
えいがのよこくくんを、みたことがあります～」  
まゆゆゆ 「えいがかんでか？」  
ひまぐり 「はい、がつこ～の、えいがかんでです～」  
なづなづ 「えつ、そおよおつて、えいがかんまであんのつー？」  
さつくん 「えーがまどるなんて、ほんとむちやするなー、あのヒーロー」  
なづなづ 「そおよおがつこうと、そのきんじよで、ボランティアをいろいろしてたつい、

そおぬりはなしをきいたことがあるわあ

さつくん 「そーよーだけの、せいぎのヒーローかー。かっこいーなー。

そーじとか、せんたくとか、くわむしりとか、にちようだいくとか、

そーゆーボランティアを、そーよーとか、そのちかくで、やつてゐらしーねー

まゆゆゆ 「かなりへんでもちやでじみだけど、

たしかにその、ボランティアをやつてるのは、ヒーローだといえつぞ

さつくん 「ねーすみつこー。シユーティングスターーダストマンで、なものなのー?」

すみつこ 「すみつこのまめちしきしゅう。

そうようがつにうと、そのきんじよでかつやくしてね、

せいきのヒーローとふうことだけ、わかつていろよ」

ひまくり 「はえー」

なずなず 「せえとかいの、やくいんのひとが、じつはスーツのなかにはいってゐつて、  
そおぬう、うわさをきいたことがあるでえ」

さつくん 「めちゃめちゃだなー。へんしんスーツにきがえるの、たいへんだるーなー」

なずなず 「ヒーローシヨーに、しょとうかていと、ようちかていの、  
おとこののこたちがきてたわあ」

まゆゆゆ 「にんきもの、てことか」

なずなず 「しょとうかていのおんなのごが、いちばんまえのせきで、  
じつつ、おおじえで、うたをうたつてたでえ」

すみつこ 「こどもたちに、ゆめをあたえてる、りつばなヒーローなんだね」

ひまくり 「ひまくり、しゅくていんぐすたうだすとまんさん、ぐっずをもつてます~  
みんな 「えつ、なんでつ!~」

すみつこ 「そして、べつのひ」

ひまくり 「ひまくりなんかはおもつかです~。ゆりゆりさんはあつと・・・、い、い~」  
まゆゆゆ 「おい、ひま、だいじょうぶか?」

ひまくり 「はい~。で、きっと、そくゆくときには・・・おえつ、うええつ」

ゆりゆり 「ひまくりさん、からだのぐあい、わるいんですか?」

ひまくり 「どんまくいです~」

なずなず 「ひまくりちゃん、すこし、やすんでき~やあ」

ひまくり 「いえ~、でも、だいじなとこですしつ~・・・がつ、がはつ。がはつげはつ」

みんな 「・・・・・・」

すみっこ 「・・・純粹すぎるんだ」

「スリーアンダーズ、モーリスの死が何よりも悲惨な死だ。」

[ care-cafe : smiley-smile : 09 ]

すみつこ 「わ~なまはあたたかかったけど、もうもうがたで、  
ゆうひがをして、すずしくなつてお~る、スマイル」  
なづなづ 「まゆゆゆくん、けんじお~にじつてるん?」

すみつこ 「そだよ」

ひま~り 「まゆゆゆゆゆゆやんがいなくて、なんだかやう~やう~だよ~。  
あ、おきやくせんです~。ひま~、に~に~」

じょし 「ひま。はじめまして」

すみつこ 「しつかりものにみえる、じょしがやつてめた」  
さつくん 「ひま~。に~か~に~はじめましてだよ~」

ひま~り 「こ~むすめさん~、こ~しつぐ~ぬ~です~。え~れ~」  
こむすめ 「ありがと~。ぐび・・・ブー――――ツー・」

さつくん 「だめーん、あたりだつたー?」

こむすめ 「うん、そ~みみたい。ふきだして~めん。  
ソーユーグーヌーっていうあじだつたよ。しょ~ゆあじのグーヌー」

すみつこ 「ぬれたとこ、やうきんでふいとくね。ふきふき。  
たぶん、「一シ一のかわりに、こ~いくちしょ~ゆをまぜたみたい」

さつくん 「いろがいつもビ~りで、きづかなかつたよ~」

ひま~り 「はえ~?」

すみつこ 「すみつこのまめちしおしゅう。グーヌーと、しょ~ぱわは、あんがいあ~」  
さつくん 「ほんとですかいな~」

なづなづ 「だいじょおぶう? なにか、はなしい?」

こむすめ 「まゆみくん、ひま、ぶかつこつて、に~に~わいになじよね?..」

ひま~り 「はい~」

こむすめ 「まゆみくんのことで、きいてほしいことがあつて」  
さつくん 「ニヤハハハハハハ、まゆゆのことですかニヤー。まゆゆのなにがいーのー?」  
こむすめ 「なににでもいっしょうけんめいで、それに・・・うん、  
ふだんはおこりつぱいのに、ほんとほやせしこと~の・・・」

さつくん 「えー? ほんきで~いつてんのー?」

ひま~り 「はえ~、まゆゆゆゆさんのこと、あちんとみでらつしゃいます~」  
こむすめ 「まゆゆゆくんとおなじけんどうぶで、わたし、マネージャーしてるんだ。  
それで、まゆゆゆくんとしりあつて、くわしくなつたよ」

なづなづ 「おなじぶかつなんやあ、それなら、ほかのひとに~ひぐ~れお~りやね~」  
ひま~り 「はえ~、すでにおしりあいど~しなの、  
お~きな、あごばん~へじだとおも~ます~」

こむすめ「しりあいだけど、ただおなじぶかつのしりあいってだけで、

わたしのことなんて、なんともおもつてないみたい」

なすなす 「まゆゆくんの、おんなのこへのきよおみのなさっぷり。あれはちよつとなあ」「さつくん 「まゆゆのこと、どーして、いーなーつておもったのー?きつかけはー?」

こむすめ「うん、それはね、わたしがマネージャーだからってこととで、

ゆうがたに、けんどうぶのそうちのかたづけを、ひとりでやらされてたんだ。

そのときに、れんしゅうかおわったあとで、まゆゆくんかやつてきて、れんしゅうしたあとで、すぐつかれてるはずなのに、

おもいもんはオレがもつから、オーメーはできとうなんもつとけ。

に見え、それでおせたんですね

なんとかせんじゆんうかみたい

なずなず 「なずなずも、そんなんされると、きっと、へりへりへるわあ」

卷之三

カサ、井二井二にか二二、ビニ

けんどーは、まーまーつよじー、かおは、まーまーびけーだー。

あれー? けつこうもてるかもー?」

すみつこ」のうりゆくは、へいきんいじようがおおい

えー、まゆまゆってやねーのー? もうセーかぐだよー

すみれも、おゆみのことをやめようとおもひてゐる

なすなす 「なすなすも、おもてんでえ」

いはかたは  
ゆきじよいてゆかう

さつくん  
「んー、そーなのかー。」

でも、タイヤキやけないからなー。りょーりへただからなー」

なずなず「ひまりちゃんからみて、まゆゆくんでじおなん?」

「はい、あやぢあやい

さつくん えー、そーなのー? いがいー」

はい、ひまわりの「く」たおりょうりをういつもう、もんくをいねす。

わっくん 「つて、モーゆーいみかーいー」  
すみっこ 「えうだらうね」  
なずなず 「わおゆうじみやろおなあ」  
こむすめ 「わっくんさんば、まゆゆゆくん、どりー。」  
わっくん 「まゆゆゆとは、ながいあいだのおさななじみすわい、  
わっくんからみても、まゆゆゆからみても、  
うーんー、モーゆーかんけいになるうつてきになれないよー。  
それよりもー、まゆゆゆって、そもそも、おんなのこにきょーみあんのー?」  
すみっこ 「まつたくなーい」  
なずなず 「とおもうわ」  
こむすめ 「そうおもハ」  
ひまつり 「はえ~」  
すみっこ 「れんあいといふものに、きょうみをもつてないとなわい」  
こむすめ 「わたしのことにも、きょうみをもつてないよ、わいと」  
すみっこ 「だからまづ、れんあいや、こむすめさんば、  
きょうみをもたせることがひつようになるよ」  
こむすめ 「じつすれば、きょうみをもつてもうえるんだり?」  
わっくん 「ハハハハハハハ。きょーみをもたせるのに、  
まつたくけんどうがつかないよー・・・。  
だつたらもう、そのままのきもちをいって、とりがまするー?」  
ひまつり 「はえ~、いきなりきもちをつたえても~、  
わりい、オレ、そういうのにきょうみねえんだ。  
つていわれて、それでおしまいだとおもいあす~」  
なずなず 「まゆゆゆくんは、もてるために、じろじろどりょくしてゐるのとちがひて、  
ばかにされないためにやつてるし、もちあげてみるのをどおやひ?」  
こむすめ 「まゆゆゆくん、かつこじいね、つていうの?」  
すみっこ 「それはそのまますぎだとおもうよ。まゆみにかぎつたこととちがうけど、  
きもちにきづいてもらうために、たとえば、けんどうといんだね、  
つて、ふたりきりのときには、あいてのいじといふをじうのがおすすめ。  
それとなく、にういをもつてることをつたえられて、  
にういにきづくかもしれない。」  
けんどうぶどうしで、いつてもあまりふしじんではないし、  
まゆみからすると、ほめられる」と、こむすめさんへのじんしょくわよくなれる

わっくん 「まゆゆゆのはーい、あたま、かたいよー。にぶすぎなんだよー。」

なにいってやあんだ?だからなんかようか?けんどうおこえでほしののか?で、おわりだよー。

むずかしく、こむすめさんのことばをかんがえようとしないよー。

「わっわっわっわん。きづいてもりうのに、まつたくけんとうがつかないよー。・・・・・」  
「なずなずがじっせんに、そおゆう、ほめられて、なずなず

かるくきもちをつけられたことがんねん。

で、ほめられて、やつぱうれしかつたし、

それに、あ、このひと、なずなずをよくおもひてくれてんのやつで、そういうふうにきづけたで。だから、けつこお、いいてやとおもひわ

さっくん 「なるほどー」

すみっこ 「けいけんしゃかたる、だね」

こむすめ 「そつかあ、じゃあ・・・」

ひまぐり 「はえー、じょーずな、れんあいてくにっくですー」

こむすめ 「むすめ 「わっひとつ、きいてほしいことがつて。

すみっこ 「ややこしいひとのことを、おもつてんんだね」

なずなず 「あれだけにぶくて、うといと、むずかしいわあ」

ひまぐり 「はえー、むねをこがす、れんあいえーがみたいですー」

すみっこ 「いりぐちから、からりんからりんといつチャイムと、ドアがあくおどがした」

ひまぐり 「はえー、おきやくさんですー」

ひまぐり 「ああ、はらへつた。ひまつ、んだ、じちげんか?」

こむすめ 「・・・・・!」

あ、あのつーまゆみくん、けんどう、つよいんだねつ!だだだだだつー!」

すみっこ 「いつたあと、うつむきながら、はしつてスマイルをでいく、こむすめ」

まゆゆゆ 「んだあいつ。れなのやつがきてたか。なんのはなしだつたんだ?」

すみっこ 「にぶい」

さっくん 「にぶいよー」

なずなず 「にぶいわあ」

ひまぐり 「にぶいですー」

まゆゆゆ 「んだオメーら、にぶいにぶいといいやがつて。あいつ、そんなんににぶいのか?」

すみっこ 「ほんと、にぶい」

さっくん 「ほんと、にぶいよー」

なずなず 「ほんま、にぶいわあ」

ひまり  
「ほんと、  
にぶいですか？」

まゆゆゆ んだそりや ひま 「レモンゼリーでいいか?」

まゆまゆ 「もーらうぞ。がつがつ……ブバ——ツ！」

「おやかまじくおのちうわトーメハ、かのわらやびざ。おじせんじく。」

まゝやめに か カれえ！ いやからせかでくらいは！ みやぐれえ！」

まぬぬぬ 「いやがらせかよつ、みづ！みづくれつ！」

「せりがやが、」「こゝにすみつこ」

「アーヴィングのやからせたよ」

ひまり 「いやがらせですか」

すみつこ「はら、のみもの」

のうしゅくせんばい、だよ

まゆゆ 「んだぞりや、まだいやがらぜがよつ、みづーみづぐれつー」

なずなず「もひるん、いやがらせやあー

ひまぐり 「もちろん、いやがらせですか」

一九二二年九月

さうくん「あー、おんなのひとから、スマイルのひとたちあてに、  
てがみがどどいてねー

ひまわり「はえ、らぶれたらですか？」

うまつるべハニセニ。ニシニシニシニシニシニ

まゆゆ「いいとかいいやがんな。おもらめつと、そこでない

やうくん「んうとこ、こんのおと」はあああああ——————うー」

[ care-cafe : smiley-smile : 09 ]

「おもちにきづいてもらうために、たとえば、けんどうつよいんだね、つて、ふたりきりのときに、あいてのいいところをいうのがおすすめ。

それとなく、『うごをもつてゐることをつたえられて、『うごにまづくかもしれない。  
けんどうぶどうしど、いつてもあまりふしづんではないし、  
まゆゆからすむと、ほめられるとで、『むすめさんへのいんじょいつもよくなむ』

すみっこ 「やして、べつのひ」  
ひまつり 「やおおしたゞ、ひおひやくしゃぬくゞへどす。やあはくわよへしょくゞへどす」  
まゆゆゆ 「ベタなまちがいを、わひにじこまちがえてつや」  
ひまつり 「はえー?」  
さつくん 「どこりで、ぞうりよーせー?」  
ひまつり 「ひやくじゅーのおへやめ、ひこおんせんですー」  
みんな 「つて、んなもん、どうやつて  
ひまつり 「ちようりでせるじょうたいにしたんだつー?」  
みんな 「じくぶさん、じくぶやからむひつやまつたゞ  
ひまつり 「だから、んなもん、どうやつて  
ちようりできるじょうたいにしたんだつー?」  
みんな 「じうんどうになりましたー」  
ひまつり 「つて、たたかつたのかよー!?」  
みんな 「つて、たたかつたのかよー!?」

すみっこ 「やして、べつのひ」  
まゆゆゆ 「おい、すみ。なんで、ほこのなまえがスマイルなんだ?」  
すみっこ 「わなえが、えがおをつくりたかったから。みんなにも、じぶんにも」  
まゆゆゆ 「そうだつたのか。それと、さなさんて、どういうひとだつたんだ?」  
すみっこ 「まじめで、どりょくかで、せきにんかんがあつて、  
かんべきしゅきで、きくぱりのできる、やさしいひと」  
ひまつり 「はえー、ぱくべくとですー」  
さつくん 「りつぱなひとだつたんだなー」  
なづなづ 「いまのせえとかいちよおが、せえとかいちよおになるまえに、  
スマイルをつくつたんやんねえ。」  
それつて、すぢいたいへんやつたんとちやうん?」  
すみっこ 「すぢくたいへんだつた。スマイルをはじめるための、  
じうぐをあつめるとか、けいひのかくほ、うんえい、  
りょうりをつくる、がつこうとのこりしょう、そのほかのいろいろなこと、  
さなえのときに、すみれもいたけど、はじめるためのじゅんびも、うんえいも、  
ほとんどのなんでも、わなえがひとりでやつてたんだ」  
まゆゆゆ 「じつかりしたひとだつたんだ、さなさん」  
すみっこ 「まじめなだけに、くるしみもおおきかつたみたい。  
まじめでせきにんかんがあるぶん、なんでもまじめにかんがえて、

なんでもひとりでかかえこんで、

ひとをすくえなかつたときには、くるしんでたんだ」

なずなず 「まじめすぎたんやね。

それだけに、うまくいかないときのくるしみもおおきかったんや」

すみつこ 「うん」

ひまくり 「すまいるの、りつぱなじしゅじんさんだつたんですね。

ひまくりと、ゼンゼンちがいます」

すみつこ 「ひまり、どんまいだよ」

さつくん 「やなさんがそつきようしたの、きよねんだつけー?」

すみつこ 「きよねんそつきようというか・・・じによじによ」

ひまくり 「はえー?」

まゆゆ 「きかねえほうがいいか?」

すみつこ 「そのほうが、すみれはたすかるよ。

すみれのくちからは、なかなかいいにくいんだ」

なずなず 「じじょおがあつたんやね」

すみつこ 「ひとのいいろのふれてはいけないところ。

そのことに、きづくことは、とてもたいへんなことだつたみたいなんだ」  
ひまくり 「はえー、ひまくりに、そんなたいへんな、すまいるのじしゅじんさんなんて、  
ほんとくにできるんでしょーか。ちょっと、じしんなくします」

まゆゆ 「ひまには、オレたちがいっそ」

さつくん 「そだよー。みんながいるよー」

なずなず 「そうやでえ、なずなずたちがいるわあ」

すみつこ 「うん、いっしょにわかちあえるひとがいる」

ひまくり 「はえ・・・ひまくり、がんばります」

すみっこ 「いつまでもわかりあえないから、ずっと・・・孤独」

「おはようございます 朝食、 朝食を召す時間です」

[ care-cafe : smiley-smile : 10 ]

すみっこ 「じんよりとした、きがはれなくなるてんきのひの、スマイル」  
さつくん 「きがめいるなー」  
なずなず 「めいるわあ」  
まゆゆゆ 「オレにとつちや、すずしくて、けんどうをするにはぜつこうのてんきだぞ」  
さつくん 「ソフトボールのれんしゅーがー、おやすみになりそー」  
なずなず 「ふふふ。ふたりとも、ぶかつにむいてるてんきがあわへんのやねえ」  
さつくん 「そだねー、あわないよー」  
まゆゆゆ 「ひにくなもんだ」  
ひまくり 「ひにくな、おにくつておりょく、いま、かんがえましたー」  
みんな 「にくかよつ、よからぬものが、できあがるきがつー」  
まゆゆゆ 「くわせんの、じうせオレだつ！」  
ひまくり 「はえー？」  
あ、おきやくさんです。ひまくりに「  
すみっこ 「どんよりとした、だんしがやつてきた」  
ひまくり 「ふがくさん、まずはこくしぐくぬくを、どくぞく」  
ふがーー 「いらない」  
まゆゆゆ 「ひまつ、いかにもわけありつて、かおしてつむ」  
さつくん 「ひまー、どしたのー、くらじよー」  
ふがーー 「かていないぼうりよくで、くるしんでるんです。  
まゆゆゆ 「まいにちまいにち、あばれて、ものをこわして、なぐつて……」  
さつくん 「ひどいよー」  
なずなず 「・・・・・」  
ひまくり 「はえー」  
すみっこ 「かていないぼうりよくをうけてるひとたちのための、  
いちじてきにみをかくすところがあつたとおもう。  
まずは、そういうとこ、こつてみて」  
さつくん 「そーだよー、そーゆーとこ、いつたほーが、みのためだよー」  
まゆゆゆ 「だな。はやめにいつとけ。より、こじれるまえにな」  
ふがーー 「それが・・・あばれてるのは・・・ぼく、なんだ」  
さつくん 「えつ、ど、どひや・・・」  
まゆゆゆ 「んだとつ」  
なずなず 「！」  
ひまくり 「はえー」

- すみっこ 「やうなのか」「
- ふがーー 「どうすれば、やめられるでしょうか」
- まゆゆ 「あぶねえな、それあ」
- なずなず 「そんなの、さつくんたちにいわれてもー。さつくん、どうしようもないよー」
- ひまぐり 「ほら〜え〜がより、よつばどこわいです〜」
- ふがーー 「がつこうでいやなことがあると、とにかくやつあたりしたくて、かぞくにぼうりょくをふるうし、ものにもあたるし、いえでかつてるペットにまで、ぼうりょくをふるつてゐる」
- まゆゆ 「まじかよ、さいていだなテメー」
- なずなず 「・・・・・」
- さつくん 「ひどいよー、やめなよー」
- ふがーー 「でも、やめられなくて」
- まゆゆ 「じぶんのいしでやめられつだろー！ いますぐそんないよーはやめろー。これはテメーのためにいつてんじやねえー」
- テメーのかぞくのためにいつてんだぞつ！」
- さつくん 「まゆゆのゆーとーりだよー。いますぐやめなよー」
- ふがーー 「やめられる、じしん、ない」
- まゆゆ 「あぶねえやつだなテメー」
- ふがーー 「じぶんでも、やつあたりしたさを、おやえきれないんだ」
- ひまぐり 「はえー」
- すみっこ 「げんいんをたどつていつて、がつこうでのいやなこととつうのをへらす」とで、いえにかんじょうをもちこむことが、へるかもしれない」
- さつくん 「そーだよー、まず、そつちのげーいんをなくそーよー」
- まゆゆ 「やつあたりしたくなる、そのげんいんをつぶせ」
- ふがーー 「がつこうでのげんいん・・・たくさんあるよ。かぞえきれないうらう」
- まゆゆ 「ならもう、オレにはどうしようもねえ」
- さつくん 「にんげんだつたら、だれでも、いやなこととか、うまくいかないことをもつてゐよー。がまんするとか、ほかのことですつきりさせるとか、きぶんてんかんでもいいし、とにかく、いろいろやつてみてー」
- すみっこ 「せんもんのそだんしせつに、いくか、まずは、でんわだけでもしてみて。せんもんかに、はなしをきいてもらうほつが、かいつけやすいとおもつよ。そこあいてはプロだから、はなしもじょうずにするかもしれないし、はなしをきいてもらうだけでも、きがらくになる」

「わかった、そうしてみます。じゃあ」  
「すみっこ」「くらいかおで、スマイルをでていぐ、ふがーー」  
「ひまぐり」「ふがーーさん、またきてくださいねー、にほんぐー」  
「さつくん」「あよーは、ほんと、すぐえなかつたねー」  
「すみっこ」「すみれたちは、てにおえなうことだとおゆい」  
「さつくん」「あんなにおとなしゃいなのに、こでめちやくちやしとねなんてー」  
「まゆゆゆ」「くわつ、ああいうこと、が、げんじつにおきてやがんだ。」  
「てつわり、つくりじとのせかいのなかだけか、  
ほうじうわれてるせかいのなかだけだとおもつてた」  
「すみっこ」「このよのなかとこうのは、みんながおもつてるほど、  
ひょうめんにみえてぬよいに、きれいとちがうんだとおゆい。  
だから、ふこりなこと、が、みんなのしゆないところで、  
つかつわにおひいてるんだ」  
「まゆゆゆ」「あたなじとい、か」  
「さつくん」「わいくん、ねがいだよー。へりこわいに、じわいわいなぬよー」  
「なすなす」「わわ・・・・・・」  
「すみっこ」「なすな、だじょじょじょ?」  
「なすなす」「うん・・・・・・」  
「ひまぐり」「はえー、なすなすわん、だいじょーぶですかー」  
「さつくん」「なすなすー、だいじょーぶー? すじー、へるしづーだよー」  
「すみっこ」「わは、そつとしておいてあげて」  
「なすなす」「わ・・・・・・」  
「・・・・・・・・・・・・」  
「ああああああああー! わああああああああああー!」

[care-cafe : smiley-smile : 10]  
「かへらねごせりのよくやうひたてねむひとたかのための、  
ねいじー、うかごトかにみをかくわといふがあつたとおゆい。  
せあざ、やあじーと、うつてみて」  
「ほんがんだつたむ、だれでも、いやなじとんが、うまくこかだこいとをやつてねよー。  
がまんするとか、ほかのじとですつかつわせるとか、  
あぶんてんかんでもいじー、とにかく、うのじゆやつてみてー」

[ care-cafe : smiley-smile : 10 ]

「がていないばかりよくをうけてるひとたちのための、  
そういう、いちじてきにみをかくすといろがあつたとおもへ。  
まずは、そういうとい、うつてみて」  
「にんげんだつたら、だれでも、いやな」ととか、うまくいかなことをもつてゐるよー。  
がまんするとか、ほかのことですつきりせるとか、  
きぶんてんかんでもいいし、とにかく、いろいろうつてみてー」

「せんもんのそだんしせつに、いか、まずは、でんわだけでもしてみて。  
せんもんかにはなしをきいてもらうほうが、かいつけつしやすいとおもうよ。  
そこのあいてはプロだから、はなしもじょうずにするかもしれないし、  
はなしをきいてもらうだけでも、きがらくになる」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまわり 「はえ、すみっこさんのかなおりょく、なんじょか~?」

すみっこ 「バットラ」

ひまわり 「はえ、ばってらおいしへ」

すみっこ 「じきるばんぢりょくだよ」

ひまわり 「はえ、よせぢくおさきなんですね。こんぢくあります  
さつくん 「じーかんがえても、ひまーりがたべおいしいバットラとは、  
ちがうとおもうよー」

「ちがうとおもうよー」

すみっこ 「そして、べつのひ」  
ひまわり 「はえ、すみっこさんで、なんさいなんですか~?」

すみっこ 「みんなといつしょ」

さつくん 「んー、そーはみえないよー」

すみっこ 「しつれいだよー、ぶんぶん

さつくん 「としが、じゅつさいよりすくない、ちつちやじーじーにみえるよー」

すみっこ 「おかしなこといわいでー。

でも、うまれてこのかた、いつセンチもせがのびていない  
「まじかよー!」

みんな 「あーそつか、そーいえば、すみっこば、るぼ・・・  
さつくん 「ぶえっくし! きょーはさむいなー」

ひまわり 「ひまわりも、さつくんさんも、すみっこさんも、みんながいぢゅー」

さつくん 「じつひやーーー、それはいわいでー。

え? でも、さつくんは、まだのびてるよー。

それに、だいたいへーきんくらいだよー

ひまわり 「ひまわり、ちつちやいってよくいわれます~」

なずなず 「ひまわりちゃんの、おゆうとこも、かわええわあ。だいすきこ」

まゆゆゆ 「なずにかんしては、まあああたかいつてとこが」

すみっこ 「すみれとしては、みためを、かいぞうしてほしこ」

まゆゆゆ 「みためをかいぞうって、びょうじんでの、しゅじゅつでか?」

すみっこ 「ひうじょうでだよ」

さつくん 「あーそつか、そーいえば、すみっこば、るぼ・・・

はつくしょい! あー、かぜひいたかもー」

すみっこ 「そして、べつのひ」  
ひまぐり 「できました。ひまりすぺしゃるななじ～です～」  
なずなず 「なんていうりょおりなん?」  
ひまぐり 「とんかつら～めんです～。」  
さっくん 「とんこつすーぷのかわりに、とんかつをいれました～」  
なずなず 「きょーは、きたいできそー。・・?」  
まゆゆゆ 「まゆゆゆくん、よろしく」  
まゆゆゆ 「オレかよつ、まあくつてみつか。がつがつ。めずらしいこともあるもんだ。おいしいぞ」  
なずなず 「で、なんのおにくなん?」  
ひまぐり 「はい、とんです～」  
さっくん 「まともだー」  
なずなず 「とんをあぶらあげたんかあ。ちゃんとしだせりょお、つじてるひ」  
すみっこ 「ひのおにく、じこでかつたの?すみれば、ぶたを、しいれていなじよ」  
さっくん 「じきつ」  
なずなず 「いやなふんいきに、なつてきたわあ」  
まゆゆゆ 「じうじうオチなんだ?」  
ひまぐり 「ねじうらの、うすぐり、ペッとしそつぶさんで、しつれできました」  
まゆゆゆ 「おいつ、んなあやしいとこでかうなよつ。わい、くつちまつたぞつ」  
さっくん 「でも、ぶたは、ぶただよー」  
まゆゆゆ 「なら、さくがくえよ」  
さっくん 「うーん、えんりょするー」  
すみっこ 「どういいくものなの?」  
ひまぐり 「はい、とんはとんでも、ぶたさんとちがつて、  
あしが、はちほんはえてて、めが、さんじゅつこあつて、  
はねが、にじゅうまいついてて、それから、あたまに、の～みそが～・・・  
みんな 「それつて、ほんとにおきゅうのいきものなんだよねつ!?」

まゆゆ 「ほんまもんじやねんにあおいでる。これで二ペアの・・・指しみつてのは」

「ねえ、かわいいんだから、またのうれしだよ」

[ care-cafe : smiley-smile : 11 ]

すみっこ 「くもつてはいないけど、あめがすこしふつてる、ふしきなでんせのひのスマイル」

さつくん 「きつねのよめいりだー」

なずなず 「めずらしいわあ」

まゆゆゆ 「そんなひもあるか。さくに、よめのもらいてがついてほしいぞ」

さつくん 「つて、どーゆーいみやねーんー。」

まゆゆゆ 「まゆゆゆ」そ、もらいてをさがすのをすすめるよー。じひやひやひやひやひや」

まゆゆゆ 「おいつ」

ひまぐり 「はえー、まゆゆゆゆさんて、ほんとはおとーのひとなんでしょーかー?」

まゆゆゆ 「ほんとはおとこか、というよりは、ほんとに、おとこだぞ」

さつくん 「さつくん 「まゆゆゆさんてば、めがねのおくは、おんなのこみたいな、

びしょーじょのような、かわいらしーような、おかおですからニヤー」

ひまぐり 「はえー、とゆーことは、ほんとはおんなのひとなんでしょーかー?」

まゆゆゆ 「こんなに、せのでかいおんながいるかー。はなしをへんなほうにもつてくなつ」

さつくん 「けんどーをするより、じょしバーレーボールぶを、めぞしてほしーですニヤー」

まゆゆゆ 「だから、よけいなことこうなつ」

なずなず 「ふふつ、ふふふふふつ。そんなきはしてたでえ」

ひまぐり 「はえー、やつぱりそつりですかー」

まゆゆゆ 「おいつ、こらつ。

そんなんにしりたいなら、すみっこのはめちしきしゅうでもみとかー」

さつくん 「どーかいてありますかニヤー?」

すみっこ 「すみっこのはめちしきしゅうには・・・ふつ・・・」

まゆゆゆ 「おいつ、オメーまでつ」

ひまぐり 「はえー、とゆーことばー」

なずなず 「やはり」

さつくん 「そちらが、ただしーんですニヤー」

まゆゆゆ 「だ、か、ら! おとこだつてつー!」

ひまぐり 「あー、おきやくさんですー。ひまー、にんにん」

じょし 「えと、こんにちは、ひまです」

すみっこ 「うちあわうな、めがねをかけたじょしがやつてめた」

まゆゆゆ 「ひまつ」

なずなず 「ひまあ」

さつくん 「ひまー、なんのはなしなの一?」

ひまぐり 「ねこじたさん、こくしきそくめへんですー、ぐーぞー」

まゆゆゆ 「すいぶんと、かわったなまえの、そうめんだぞ」

ねこじた 「うつ、 いただきます・・・するする・・・うつ、 うえつ、 にがいつ  
ひまつり 「えすぶれつそあじです。おじしへどしょくかく?」  
さつくん 「それは、 かおをみればわかるよー」  
すみつこ 「さいごまでたべる、 ねこじたさん、 りつぱだね」  
ねこじた 「もらつたものだし、 ちゃんとたべます」  
さつくん 「まゆゆゆみたいだー」  
なづなづ 「まゆゆゆくんと、 きがあいそおですわあ。  
それで、 なにかおはなしですやるかあ?」  
ねこじた 「えと、 うち、 いま、 すきなひとがいるんです」  
さつくん 「ニヤハハハハハハ、 そのてのおはなしですかニヤー。  
ほんに、 スマイルには、 そーゆーそーだんが、 おーぐ、 めせられますニヤー」  
まゆゆゆ 「さくの、 すきそなはなしだ」  
ねこじた 「それで、 えと、 すきなひとが、 ふたりいてるんです」  
さつくん 「どつひやーーーーー、 ふたまたですかニヤーーーー。みかけによりませんニヤー」  
まゆゆゆ 「さいごまで、 はなしをきけつ」  
ねこじた 「えと、 どちらのひととも、 まだかたおもいしていゆといひです」  
なづなづ 「ふたりのひとって、 どんなひとなんでしょお?」  
ねこじた 「はい。えと、 ふたりとも、 せんぱいです」  
なづなづ 「そおなんやあ。としうえつて、 かつこええですやんねえ」  
ひまつり 「そのおふたりどくしは、 どのよくな、 ごかんけくなんでしょくかく?」  
ねこじた 「えと、 ふたりは、 おたがいをしらないです」  
さつくん 「まゆゆゆも、 とししたをねらつちゃえー」  
まゆゆゆ 「つせーぞこらー」  
すみつこ 「ふたりをおなじときに、 つていうの、 ぐるしいね」  
ねこじた 「はい! そなうなんです。ぐるしくて。  
それで、 あの、 えと、 うちのすきなひとっていうのが、  
かたほうは、 サッカーぶで、 もうかたほうは、 バスケぶなんです」  
さつくん 「どつちもスポーツマンかー」  
なづなづ 「にたかんじの、 ふたりのせんぱいなんですやねえ」  
ねこじた 「それが・・・ぜんぜんちがつて・・・」  
さつくん 「どゆことー?」  
ねこじた 「かたほうが、 サッカーぶなんですけど・・・、  
もうかたほうのせんぱいがバスケぶで、  
バスケぶのせんぱいが・・・えと・・・う・・・」

なずなず 「いいにくそおやねえ」  
ひまぐり 「はえう。よほどだいじなことなんですね~」  
さつくん 「ニヤハハハハハ、どーゆーことですかニヤー?」  
まゆゆゆ 「いいにくいなら、いわなくていいぞ」  
ねこじた 「このこと、しんゆうにも、おやにもこえてなくて・・・」  
ひまぐり 「なり~、こにじるみなやんが、おやめします~」  
なずなず 「ほかのひとにゆうことで、すつきりするかもしれんとおもいます」  
さつくん 「どんどん、いーなすつてニヤー」  
ねこじた 「う・・・やつぱり、いえない・・・」  
ひまぐり 「バスケぶのせんぱいのしんちよ~は、なんせんかくりこどしょ~か~?」  
ねこじた 「えつ、えと、ひやくろくじゅう・・・より、ひくじくじだとおも~めす」  
まゆゆゆ 「バスケやってるわりに、ずいぶんちつせえな」  
ひまぐり 「はえう、なずななずさんくらじのたかさでしょ~か~」  
なずなず 「!・・・そつかあ。わかつたわあ」  
さつくん 「なるほどニヤー、わかりましたニヤー」  
まゆゆゆ 「なにがわかつたんだ?」  
なずなず 「まゆゆゆくん、きかんとわい」  
ひまぐり 「はえう、ひまぐりもなんとなくわからました~。」  
おとなむけの、れんあいえうがみたいな、しかゆえ~しょんです~  
まゆゆゆ 「どうじゅうことか、オレにもおしえるよ」  
すみっこ 「やせ」  
なずなず 「そやでえ、きかんとわい」  
さつくん 「なんどもいわせなさんニヤー」  
すみっこ 「せんさいな、ししゅんきのじきのおんなのことつい、  
やうじゅきもちは、とくにおかしなこととはちがうんだ。」  
よくあることだよ。ほかに、おなじようなきもちをもつてゐるともおおいよ。  
そういうきもちをもつのは、ししゅんきのとわだけつていい」ともおおこかい、  
そんなにきにしなくてかまわないとおもひ。  
それに、きっと、ねこじたさんは、せんさいなきもちをもつてゐるひとなんだよ。  
だから、むしろ、くるしむより、じぶんをほころぶりこにおもひところよ」  
ねこじた 「ほつ、やうなんですか」  
なずなず 「そやでえ」  
ひまぐり 「さつか~ほいひとと、ばすけほいひとだと、どうちのかんじのひとを、  
いままでに、すきになつたかずがお~いじょ~か~?」

ねこじた 「えと、サッカーぽいひとのほうがおおいです。

さつくん 「なら、ぜんぜんきにするひとつよがないよー」

なづなづ 「いまだけ、バスケぽいひとを、すきになるんやとおもいますわあ

まゆゆゆ 「オメーら、なんのはなしをしてやあんだ? ぜんぜんついてけねえ」

すみっこ 「たとえばネコたちがいたとして、みんな、さかなをたべるネコだったとする。

そしてそのネコのしゃかいに、おとなになるまでの、ほんのすこしのあいだけ、さかなも、やさしもおいしくて、どつちも、たべたいとおもうネコがいたとする。でも、ネコのしゃかいで、さかなもやさいも、どつちもたべられるネコが、さかなとやさいと、どつちもおいしいとおもって、どつちもたべられるのつて、まわりから、めずらしがられて、それで、くるしむこともあるかもしない。

だけど、ほんのすこしだけのあいだ、どつちもたべたいとおもえるという、

ふつうのネコよりおおくのことに、きもちをよせられることは、ながい、じんせいのなかで、ほんのいつしゅんのきらめきのような、

むしる、しあわせといつていいくらいのけいけんだって、すみれはおもうんだ」「なづなづも、すみっこちやんのいうとおりやとおもいますわあ。

そんなすてきなきもちになれるの、いまだけやとおもいます」

さつくん 「ふたつもすきになれるんだよー。たのしーことがふえるよー」

ひまぐり 「ねこじたさん、すばらしくかんせうを、おもちだとおもいますー」

ねこじた 「そうですか、ほんのすこしのあいだの、きらめき・・・」

なづなづ 「ハのきもちがうまくつたわらへんでも、それでも、かまへんのかなつて、なづなづはおもいますわあ。かたおもいつて、そういうもんやとおもうわあ。それに、ほかのサッカーぽいひとをすきでもいて、そちらのひとと、うまくやつていけるようにしていいとおもいます。

そうすることで、しだいに、バスケぽいひとをすきになるつよせがへつてつて、くるしみもすくなくなるんとちやうかなつておもいます」

さつくん 「ほかのだれにもいつていないことなら、めずらしがられずにするよー。ふたりをおなじときにいいなつておもつても、そんなの、ねこじたさんがほかのひとにいつてないんなら、

まわりからなんともおもわれずにすむし、きにしないでいーよー。

かたおもいのきもちをバスケのせんぱいにいと、ややこしくなるけど、むねのおくに、おいとくだけにするといいかもしれないよー。

かたおもいがうまくいかないとか、だれにもいえないことなんて、あたりまえだとおもつよー」

ねこじた 「そっか・・・ほつ、みなさん、ありがとうございました」  
ひまぐり 「ねこじたさん、またきてくださいね、にこにこ~」  
すみっこ 「あんしんしたかおつきで、スマイルからかえつていく、ねこじた」  
さつくん 「きょーは、ちからになれたなー」  
なづなづ 「よかつたわあ」  
すみっこ 「にころぼそいきもちを、かるくできた」  
ひまぐり 「にころぼそい、いちげんさんが、きょーのおはなしをできたのは~、  
すまいるというところだったからこそだとおもいます~。」  
すまいるのみなさんて、すごいな~って、おもいました~」  
「そやわあ、スマイルのみんなやからできたんやわあ」  
さつくん 「そーだよー、すゞいよー」  
すみっこ 「みんな、りっぱだとおも~」  
まゆゆゆ 「オレだけ、さいごまで、なんのはなしか、わからんかった」  
さつくん 「なづなづも、けっこー、あーゆーきもちをもつんじやないかな~。」  
ひまぐりのこと、かわいがつてるよー」  
なづなづ 「(ううん、そおゆうきもちとは、だいぶちやうよおなあ」  
ひまぐり 「はえ~、すゞく、かわいがつてくださつてます~」  
さつくん 「すみつこのまめちしきしゅうには、  
なづなづのもつてる、ひまーりへのきもちつて、どーかいてあるのー?」  
なづなづ 「きになるわあ、おしえてえ」  
すみっこ 「すみっこのみめちしきしゅう。」  
なづなは、ひまりのことを・・・ハムスターみたいにおもひ~る」  
さつくん 「つて、しょーどーぶつかーー」  
ひまぐり 「はえ~、ペッとさんみたいなものですか~」  
なづなづ 「ほんまやあ、かいてあるとおりやわあ。」  
ひまりちゃん、かわいいいいいつ。また、きせかえしてあげよおねえ。  
ピンクのリボンなんかどお?フリルの、たっくさんついたブラウスもおー!」  
ひまぐり 「はえ~、もういつかい、きせかえですか~。わかりました~」  
さつくん 「つて、すなおにやつて、いやがらんのかーいー。  
ところで、さつきいつてた、まゆゆさんが、  
ほんとうは、だんしかじよしか、どつちなかつてゆーのは、  
すみっこのみめちしきしゅうには、けつきよく、どーかいてありますかニヤー?」  
まゆゆゆさんは、おんなのこさんには、きょーみありませんからニヤー」  
ひまぐり 「はえ~、おんなのこさんに、きょーみがないとゆーことは~」

なずなず「きよおみがないとゆう」とはあ、やはりい

すみつゝ「そして、べつのわ」

さつくん 「あー、おんなのひとから、スマイルのひとたちあてに、  
ひまぐり 「はえー。らぶれたらですかー」  
てがみがどどいてるー」

さっくん 「なになに・・・。  
ねこじたです。いまでもちょー

「どうも、ううはなしかよくわかんねえが、あつと、ましこなつたらいい」  
ねこじたです。いまでもちよつとくるしいのですか、すこし、ましになりました」

ひまわり「はえ、ちよつとは、ちからになれたんでしょうか？」

さーくん、きもちがましはなーたんだよー それ  
なずなず 「そやわあ、ちからになれたんやわあ」

すみっこ 「ひとのこころの、ふれてはいけない・・・ところ」  
まゆゆ 「オメーら、なんのはなししてやあんだ?」

[ care-cafe : smiley-smile : 11 ]

「そんなすてきなきもちになれるの、いまだけやとおもいます」「ふたつもすきになれるんだよー。たのしーことがふえるよー」

「すばらしくかんせ～を、おもちだとおもいます～」「ほんのすこしだけのあ～だ、どうおもたぐた～どど

ふつうのネコよりおおくのことに、きもちをよせられることは、  
ながい、じんせいのなかで、ほんのいっしゅんのきらめきのような、  
むしろ、しあわせといつていいくらいのけいけんだって、すみれはおもうんだ」

[ care-cafe : smiley-smile : 11 ]

すみっこ 「やして、べつのひ」  
さつくん 「ひまーりのあしにつけられ、そのどーべ、なんなのー?」  
まゆゆ 「んだそりや」  
さつくん 「まゆゆを、けつとばすちからをつよぐむるび」  
まゆゆ 「おいつ」  
ひまーり 「はい、からだがよわっても、ちゃんとあるけんよ」  
みんな 「…」

すみっこ 「やして、べつのひ。

すみっこ のあめちしきしゅう。ひまつちやんせかえぶ、がつくられてい

ひまーり 「はえ~」  
さつくん 「えひやー、そーなんだー、そんなのつくられてるんだー」  
まゆゆ 「そういうに、んなもんがあんのかよ。ひまゆるし、とつてんのか?」  
ひまーり 「はい、おゆるしました~」  
さつくん 「つて、ゆるしたんかーい。といろで、やこのふくぶちょーは、だれなのー?」  
まゆゆ 「ふふふふふ。ふつふつふつふつ」  
みんな 「やつぱ」  
アンタだとおもつたよつーそもそもアンタだいがくいんせいだよつー。」

すみっこ 「やして、べつのひ」  
ひまーり 「やきました~。ひまつちやんせかえぶ」  
なずなず 「いんどはなんやるお」  
ひまーり 「えすかるごさんを、あぶりました~」  
さつくん 「きょきょ、せんじくだなー」  
まゆゆ 「おおかた、じつはそこらの、かたつむりっておちだる」  
すみっこ 「といつより、それタニシ」  
ひまーり 「つぎばー、なにをあぶりましょーかー」  
みんな 「わようふのものがたりの、はじまりかつー」

すみっこ 「やして、べつのひ」  
ひまーり 「はえ~、なんですまじるには、おしゃべりするためだけの、  
おきやくさんのがこないんでしょうか~?」

さつくん 「そりゃーやっぱ、ひまーりのりょーりが、とんでもなく、

まづ・・・もとじ、あょうれ・・もとじ、ンセーでまだからだよー。

うん、そーそー。じ、じつひやつひや」

ひまーり 「とんでもなくまづもといきょうれもといこせへてきなおりよーりですかー。

よくわからないです、ほめてもらえてうれしへすー」

さつくん 「じつひやー。おーい、さつくんに、ほめてるわはなわーだよー」

まゆゆゆ 「オレあ、くいにきてっだ」

まづなず 「まゆゆゆくん、やさしこもんねえ、ふふふー」

まゆゆゆ 「んだとー、じこがだ?」

まづなず 「ほんとは、なんでスマイルにきてるか、みんなしつてるだいえ」

まゆゆゆ 「なにいってやあんだ? へんなこといいやがって」

すみっこ 「じぶんじぶんの、ほんとうのきもちにきづいていいな、まゆみ」

まゆゆゆ 「おいら、かつてにかいせつすんな。オメーのやくわりは、てつだいだる」

すみっこ 「じんまい」

さつくん 「さつくん、タイヤキたべにきてるよー」

まゆゆゆ 「んなこと、だれだつてわかつてっぞ」

すみっこ 「わくらがじぶんにいってるのは、ほんとのあもむ」

なづなず 「なづなずのばあいは、おないじしきらじのひとと、はなしたいからやわあ。

それと、がくせえふくをきたいからやでえ」

さつくん 「だいがくいんせーだけど、おないどしたちと、せーしゅんしたいんだるーなーー

すみっこ 「すなおにい、なづな。でも、ひとをたすけたいと、うきもちも、つよいよー

なづなず 「ううん、でも、よく、ほんまにちからになれてんのかなあっておもうだいえ」

ひまーり 「ひまーりはー。はえー、なんですまいにきてるんでしたっけー?」

みんな 「えつ、そんないじじなことわすれたつー?」

さつくん 「ほかのひとにたいして・・・踏みにじってきたのかな」

「なんていうかな、その・・・・・・いじめられてんの」

[ care-cafe : smiley-smile : 12 ]

すみっこ 「わう、ゆうがたがおわって、よるにならうとしてごめんなの、スマイル」  
ひまわり 「あよーは、もう、へてんにしましょーか~」  
まゆゆ 「じちんち、ひとがこなつたせいで、べんきょうがはかどつたぞ」  
さつくん 「ぐがーぐがー」  
まゆゆ 「わく、おきる」  
さつくん 「あと、ななひきー」  
なづなづ 「しあわせそおな、ひょおじょおやわあ」  
まゆゆ 「おいおきる、ひつぱたしてやる。べしペしペしペ」  
さつくん 「おいしそーな、かおりだー」  
まゆゆ 「まだねてやあんな。おいつ、やけたぞつ」  
さつくん 「ふがつ！ もーできたの一？ あちくたびれたよー」  
まゆゆ 「またタイヤキのゆめか」  
さつくん 「タイヤキじこー？」  
まゆゆ 「いっべきやるから、とつとと、くつとけ。わいくいてんだ」  
さつくん 「ありがとー。ばくばく。おいしーなー」  
ひまわり 「はえー、おきやくさんです~。」  
こーしー 「んばんはー、ひまー、ぐーぬーさんー、こーしーさんー」  
グースー 「んばんはー、ひまー、ぐーぬーさんー、こーしーさんー」  
こーしー 「・・・・・」  
さつくん 「ふああああ。ひまー。じーかしたの一？」  
まゆゆ 「ひまつ。げんきねえや」  
なづなづ 「グースーさん、そおよおのせーとさんみたいやねえ。」  
こーしー 「こーしーさんは、べつのがつこうのひとですやるかあ？」  
すみっこ 「ふたりのじょしがやつてきた。みなれないせいふくをきてる、こーしー」  
グースー 「こーしーね、よそのがつこうにかよつてんの」  
さつくん 「なんのよーなのー？」  
なづなづ 「おもいはなしなんやるおねえ、だいたいわかりますわあ」  
グースー 「みいや、いつていい？」  
こーしー 「・・・・・」  
グースー 「こーしーね、よそのがつこうで、なんていうかな、」  
さつくん 「ひどいよー」  
ひまわり 「ひどいです~」  
まゆゆ 「んだと」

すみっこ 「げんいんは、なんなの？」

グースー 「せがひくい、つて」

さつくん 「そんなの、いーがかりだよー」

ひまぐり 「コーチーさんのほうが、ひまぐりより、ずーっと、おつきあいです~」

なづなづ 「まだまだ、のびるとおもいますわあ」

すみっこ 「「コーチーさん」に、なんら、おちぢはないよ」

グースー 「もー、がつこうにいきたくないんだよね？」

コーチー 「・・・こくひ」

すみっこ 「がつこうにいけなくとも、じゅくでぐんきょうするとか、よびいにとかようとか、そういうところでべんきょうをする」とはできるし、

ちゅうがつこうや、こつこうを、もしそつぎょうできなかつたとしても、だいがくや、せんもんがつこうにかようみちはあるよ。

だいがくなら、にんげんかんけいも、うすっぺらくて、いまのがつこうにかようことで、にんげんかんけいにじしんをなくしても、

だいがくでなら、やりやすいし、やつていけるといえるよ。

おないじのひとと、いっしょにやっていくのがむずかしくても、それに、がつこうというところがあわないとしても、

しゃかいにでれば、いままでとはちがう、

にんげんかんけいのありかたをつくりあげることになるし、

がつこうがあわなくとも、しゃかいでならやつていけるんだ。

それに、せんもんがつこうとちがう、かくしゅがつこうになら、

がくれきふもんで、にゅうがくできるばあいもあつて、

そういうがつこうでしかくをとつて、やつていいくというみちもあるんだ。

まだみちはおおくのこされていて、そういうのを、いろいろしらべてほしい

なづなづ

「コーチーさんの、ひとつせつするちからにもんたいがあるんとちがて、あいてにもんたいがあるんやとおもいます。

だから、じぶんをわるくおもわないでいてほしいです」

さつくん 「がつこうで、ぶかつなんかで、ぶかつのなかで、ともだちをつくつてみるとか、ほかにも、がつこうのそとで、ともだちをつくつてみるのはどーかなー? がつこうの、いやがらせをうけてるしゅーだんのなかだけが、いるぐわとこるとおもわないですむよー」

ひまぐり 「こつしゅさんには、ぐくぬくさんがいてくださつてらっしゃいます~。

まゆゆゆ 「わなわなわな」

さっくん 「わなわなわな・・・つて?」

ほくとニシテフターかあしねてかのとおなしくをしみあしあれせてやる。」

「ほんと、こんなあつた、世の中があんなもんじや、はじめてみ掛したう

まゆゆゆ「オメーに、ひはねえ! わるいのはぜんぶそのカスどもだつ!

じぶんをせめるな！ぜつたいにくつするなー

そしてなにかあ

なずなず 「なずなずも、おもいますわあー

やうへん 「やうへんも、そーねかうやー」

ひまわり 「ひまわりも、おもいます」

まゆゆ  
んなガスいかのれんぢゆうにきかいくねえられても

ハがヤーッとおいていたんだ。

オメーちゃんのじやねんんだー、井伊川さん、おやじのじやねんんだー

みんながオメーにみかたして、みんながオメーをた

グーヌー「おゆゆゆくんのじつとおりだと、あやなもに

あやなもすと・・

すみっこ 「そして、べつのひ」

さつくん 「あー、おんなのひとから、まゆゆあてに、てがみがとどいてるー」「なずなず」「まゆゆゆくうん、てがみがとどいてるでえ」

ひまぐり 「はえー。らぶれたらですかー」

さつくん 「やぶいてなかをみちやえ、ビリビリビリ。なになに・・・、まゆゆゆさんに、おともだちになつてほしいです。みこわよつ」

みんな 「ほんとにラブレターだつ！」

[ care-afe : smiley-smile : 12 ]

「まだみちはおおくの」されていて、そういうのを、いろいろしらべてほしい」「オメーに、ひはねえ！ わるいのはぜんぶそのカスどもだつ！」

じぶんをせめるな！ぜつたいにくつするな！そしてなにがあつてもあきらめるな！」「んなカスいかのれんちゅうにきがいくわえられても、んなやつらあいてにすんなつ！いいか、オメーには、たすけてくれるやつがいるつてことをぜつてえわすれんな！オメーはひとりじやねえんだ！ここにいるやつらだけじやねえぞ！みんながオメーにみかたして、みんながオメーをたすけようとしてんだ！」

すみっこ 「そして、べつのひ。

かちっ」

ひまぐり 「はえ、すみっこさん、なにしていらっしゃるんですか？」

すみっこ 「バッテラたべてゐ」

ひまぐり 「きょくはなんだか、げんきがなかつたですが、おなかがすいてたんですね」

すみっこ 「うん。エナジーがたりなくなりかかつてたから、

そのしようひりょうを、おさえめにして、かつどうしてたんだ」

ひまぐり 「なら、こんど、ぱってりつくります」

すみっこ 「わちはいびができると、うれしい」

さつくん 「あのー、やすがのひまーりでも、つくれないとおもいますよー」

すみっこ 「そして、べつのひ」

まゆゆゆ 「よくタイヤキをいちどに、にひきもくちにいれられるもんだ」

さつくん 「ふもふもふもふもー。ふもつふー、ふもふー」

まゆゆゆ 「にひきもくいながらしゃべんな」

ひまぐり 「ひまぐりも、くちにたくさんいれられます。

ためしに、タコヤキをじにんまえ・・・もしやもしや・・・ふくふく

なずなず 「わあ、ハムスターみたいやわあ。やっぱ、かわいいわあ」

さつくん 「わーすゞいー、つて・・・え？」

さつくん 「ねー、まゆゆゆー。けんじーおしえてよー」

まゆゆゆ 「つたるい。けんじーぶにでも、にゅうぶしどけ」

さつくん 「えー。けちー」

なずなず 「ひまぐりちゃんのことは、なずなずが、まもぬでん」

ひまぐり 「はえ、ひまぐり、すもーぶの、ふくぶちよーさんを、

どひょーわで、ぶんなげたことがあります」

さつくん 「わーすゞいー、つて・・・え？」

すみっこ 「そしと、べつのひ」

さつくん 「あー。なにこのノートー

ひまぐり 「ぱいぱいぱいぱい。につあみたいですよ。

につきみたいなことのほかにも、いろいろかいてあります」「

すみっこ 「それ、さなえがかいてた、スマイルのうんえいにっしだよ」

なづなづ 「うわあ、ごつつ、こまかくいろいろかいてあるわあ」

まゆゆ 「オメーら、んなもん、かつてにみんな。しゅみわりいぞ」

ひまぐり 「はえ～、しぐれたざいりよ、つくつたおりょくりく、

ほかにも、どんなひとがいちげんさんでいらっしゃったか～、

ほかにも、すまいるのことが、なんでもかいてあります」

さつくん 「こまかーいー」

まゆゆ 「だから、かつてにみんなつて」

なづなづ 「ほんまに、かんべきしうぎのひとやつたんやわあ。きちよおめんやわあ」

すみっこ 「うん、かんべきにちかいひとだつたとおもうよ」

さつくん 「たくさんあるなー。なんさつもー」

ひまぐり 「さいごのーとの、さいごのページの、さいごにかいてあるもじは～、

はえ～、

ひとの「～るのふれてはいけない・・・とこる？

そのこと、きづいたから・・・。

つて、かいてあります」

まゆゆ 「すみ、どういうみなんだ？」

さつくん 「さつぱりわかんないよー」

なづなづ 「だいじなことってことは、わかるんやけどお」

すみっこ 「それは、みんなはしらないほうがいいことかもしれない。

でも、いつか、うん、いつか・・・きづくことになる」

ひまぐり 「はえ～？」

なずなず 「ふりかえってみると、じんせいつて・・・惨めだ」

「……どうせ……だれからも……あいされてへんのやわ」

[ care-cafe : smiley-smile : 13 ]

すみっこ 「あめふりのひのスマイル。

あめだからか、きょうはまだ、いちげんさんはだれもきてない」

やいくん なすなすさんと たいかくいんせーの おとこさんのかんけい「で  
いまだんなかんじですかニヤー? おすすめになつてますかニヤー?」

なずなず 「へんかなし、やでえ」

まゆゆゆ 「んだそりや」

ひまわり「はえ、けんたいきでしょうか?」

さくへん おなかよしの おとこさんと おでこみはな  
おくわしくおきかせしておほしハです——や——

やうへん「うて、すなおにいふんか——」——「

ひまつり「せえ、ねいつのかたと、じいかおでかけするんですか～？」

すみっこ 「せんせんわかつていな、ひまり」

まゆまゆ 「おひこ」

セツくん「どうやるや。」にしても、なすなすのおうちのひとつで、どんなひとなのー?「…

なずなず 「なずなずを、まあ・・・すてたんやわ」

ひまわり 「はえ～。ふほ～と～きは、いけません～」

さつくん 「どーゆーじじよーか、よくわかんないんだけど、きいてごめん」

まゆゆ 「おおバカやろうか」メリーはつ!!

・・・あいつていうのは、そんなかんたんにいえるもんじやねえんだぞつ――

すべなくとも、ソシのじょうれんは、

オメーのことすこよつなんてことはおもひてねえ。

それに、どんなむかしのことがあつたかしらねえが、

だからも、あいされてないヤツなんて、このよにひとりもいやしねえんだつ！  
ただ、テメーが、あいされてることにきづいてないだけだつ！

なずなず「うねたこつー

あなたはひとになんどもなんどもすてられつづけたことなんてないくせにつ。

バカバカバカバカツ、バカツ、バカツ、バカツ、バカアアアアアツ！」

ひま  
り  
は  
え  
り  
ひま  
り  
は  
な  
す  
な  
す  
す  
す  
さん  
の  
こと  
す  
き  
て  
す  
よ

わっくん 「ねー、なすなずー、なきだわなこどもー」

すみっこ 「なすな、じんせい」

まゆゆ 「・・・ねむかつた。わっく、じぶんかつてなれど、こうすわだ」

すみっこ 「まゆみ、じんせい」

ひまつり 「なすなずなすわん、だいじょぶですかー」

なすなず 「かえる。」

みんな、ふんじきねぬくつてじめん。まゆゆくわくぬん」

すみっこ 「かねをぬぐいながら、スマイルをでてらぐ、なすな」

わっくん 「じつもねだやかな、なすなすがー、あんないーかたするなんてー。」

よつせんのひとだつたんだよー」

まゆみ 「オレのじつたんと、まちがつてたのか?」

すくなくともオレは、なすのひとを、

なかのじい、おなじじゅうれんのやつだとおもひでぬ」

すみっこ 「まゆみのじつてたんとせ、まちがつていなかつたとおもひ。」

でも、なすなのがいかえしたことか、おながつていなかつた。」

まゆみのじいひとがまちがつていなくて、

ない、なぜ、なすながいいかえしたかといつと、

つまり、なすなは、まゆみのじつとをしんじたかつたけれど、

あいつていうのをしんじられなかつたから、あいつた。

だけど、なすなも、まゆみも、おたがいを、

れんあじかんじゅうでなく、おじしありでね。

だからじん、なすなは、かんじゅうてわにはなつたけど、

かえぬまえに、まゆみにあやまつた。

あやまつたんだよ」

まゆみ 「・・・くへ・・・・・・・・・・・・」

ひまつり 「まゆみまゆみまゆみー・・・おこやまてゆんどうよー」

[care-cafe : smiley-smile : 13]

「だれかが、おこやまてゆんどうやつなれど、このやまらぶつかまつねんだけー。」

ただ、トメーが、おこやまてゆんどうやつなれど、こつだかだー。」

「・・・おこやまてゆんどうよー」

すみつゝ「そして、べつのわ」

わくくん「どうひやつひやつひやつひやつひやつひやつ」

まぬぬぬ わらじこえか いつもながらうせいせーぞ

さくくん おはじかこをかで も おかじーおとこななんがよー

「ひまわりちゃん、もつとわらってほしいわあ

まゆゆ 「ひまつて、あんまわらわねえぞ」

じぶんでひろわざに、ひろつてもりうとになつてます」「

みんな「えっ、ひまりのおいちってつ?」

すみっこをして、べつのひ

まゆゆ 「なにのんでんだ? あたらいりょうりか? オレも、もらつていいか?」

せりくん「どひやー、あらたなきょーふがー。どひやひやひやひや」

ひまわり「いえ、おりよりとゆうより、ひまわりよの、ぜりうの、おくすりです。

えうようほおぬうです

まいにち、んな、まざいくすり、のんでんだ!

「ああ、おまえの心地いいところだなあ。」

ひめり 「どんせじですか」

「アーヴィング、アーヴィング、アーヴィング！」

「アーニのソーラーはどこだ？」

やつらん 「いわなり、そのことをやつらんがいい」

ひまつり 「はい、おにくはつかつません」

なずなず 「おじしゃお」  
すみっこ 「ひおり、せいちょうしたね」  
ひまぐり 「きょーのも、おじしょとおもじます」  
まゆゆゆ 「ならくつてみつか。がつがつ。うん、くえなくはないぞ」  
さつくん 「ぱくぱく。ほんとだー」  
なずなず 「むぐむぐ。おいしい、ぐおかくてんやわあ」  
すみっこ 「なんてりょうりなの？」  
ひまぐり 「やさいいための、きのひがえです」  
さつくん 「きのこってゆーのが、きになるなー」  
まゆゆゆ 「わけわかんねえ、きのこか？」  
ひまぐり 「まつたけですか？」  
まゆゆゆ 「なんか、ひまに、わりいきがすっや。うきゅうひん、つかつてくれたんだ」  
さつくん 「ちやんとしたきのこなんだねー。おいしかったよー」  
なずなず 「そこまで、りょおりを、がんばつてくれたんやあ。うぬうぬ」  
ひまぐり 「きんじょのやままで、きのこがりにいきました。あしが、がくがくです」  
みんな 「つてアンタ、へんなどいがんばりますがだよー。」

すみっこ 「そして、べつのひ」  
なずなず 「ひまわりちゃんも、なずなずのつくつたクッキーたべてえ」  
ひまぐり 「はえー」  
まゆゆゆ 「がつがつ。うまいや。ひかしごりに、にんげんのたべものをくつたかんじだ」  
さつくん 「ぱくぱく。おじしー」  
なずなず 「ひまわりちゃんにたべてほしくて、がんばつてつくつてん」  
まゆゆゆ 「がつがつ。うまいうまい」  
さつくん 「ぱくぱく。おいしーなー。あのー、ねないでつくつたらしーよー」  
ひまぐり 「じゃーいただきますー、もしゃもしゃ・・・じほつじほつ」  
なずなず 「じめん、しんじー? へんなことしてしまったみたいやわ」  
まゆゆゆ 「だいじょうぶか?」  
さつくん 「だいじょぶー?」  
ひまぐり 「いえー、せっかくいただいたんですしぃ。もしゃもしゃ・・・がはつ、うええつ」  
まゆゆゆ 「あんま、むりすんな」  
さつくん 「むりにたべるの、やめときなよー」  
なずなず 「じめん・・・」

すみっこ 「なずな、じんまい」  
ひまつり 「だまつりまつ・・・じんまつりです」

すみっこ 「やして、べつのひ」  
ひまつり 「だまつりまつ、がはつがはつ」  
さつくん 「ひまつり、だいじよぶー？」  
ひまつり 「げはつげはつげはつ・・・うえつ、うえええつ」  
まゆゆゆ 「おい、ほけんしついくか? びょういんにするか?」  
なずなず 「ほんまにしんどそおやでえ」  
ひまつり 「いえー、だいじょー・・・おええええ」

すみっこ 「やして、べつのひ」  
ひまつり 「あのー、すみっこさんは、どうしておりょーりを、  
あまりつくるないんでしょうか?」  
すみっこ 「りょうりが、ひまりのやくめだからだよ」  
さつくん 「すみっこ」のりょーりのほーが、おいしーよー。じらやひやひやひや  
まゆゆゆ 「おいっ」  
すみっこ 「にんげんは、きっと、  
やくめをもつてうまれてくるんだと、すみれはおもい。  
そのやくめを、ひまりから、うばいたくないんだ」  
まゆゆゆ 「じうじう」とだ?」  
なずなず 「わいん」  
さつくん 「よくわからなによー」  
ひまつり 「はえ・・・」

なずなず 「みんな・・生まれてこなきや、よかつたのに」

「あたや、 えいや。 おお、 な、 えい！」

[ care-cafe : smiley-smile : XX ]



すみっこ 「だれもが、だれにも、いえないんだ・・・悲しみのほんとうを」

「ハグノルル、モウハシナセム。」

[ care-cafe : smiley-smile : XX++ ]

すみっこ 「うちは、びょういんのびょうしつ。

ひまりが、ベッドのうえで、ねていぬ

さつくん 「ねー、今まで、

さつくんたちがスマイルしてきたことって、なんだつたんだるー。

ほんとうに、ひとのちからになれたのかな?

だつて、さつきだつて、ひまーりをたすけられなかつた

すみっこ 「すみれたちは、なにもちからをもたない

なずなず 「ほんまやわ、なんのちからももつてへん

すみっこ 「でも、いまこうやって、ひまりのちからになるうとしている。

それでいいんだよ」

まゆゆゆ 「それでいいだつ、なにいってやがるつーよくねえつ!

おれたちはつ、ひまがつ、このよからきえようとするのをつ、

やめさせられなかつたじやねえかつ!

なんにもできなかつたんだつ、くそつくそつくそつくそつくそつ!

すくえなかつたんだつ・・・・・・すくえなかつた・・・・つ

なずなず 「むりよく・・・なんやわ・・・

すみっこ 「にんげんはみんな、ちからをもつていない。

それでもみな、ちからになろうとしてる。

そうすることで、こころをたすけることができるけど、すみれはおもつ。

さなえは、じぶんや、ほかのひとを、

ほんとうにすくえるとか、すくえたとおもえなかつた。

ほかのひとをほんとうにすくえないということでは、

さなえも、みんなも、このせかいにいるにんげんは、

だれでも、おなじだとおもつ。

でも、ここにいる、スマイルのみんなは、

ここをすくえるというんで、ちがうとおもつ

まゆゆゆ 「こころをすくうだと?」

なずなず 「なずなずたちが、なんのちからももつてへんのやとしたら、

なずなずたちには、ひまりちゃんをすくうなんて、むりとちやうん?」

さつくん 「さつくん、おもうんだ。ちからのあるなしなんて、かんけいないんだよー。

ただ、ひとのちからにならうとして、たすけようとする。

それが、今まで、スマイルのみんながやつてきたことなんだ。

そーすることで、いろいろなひとたちをほんとうには、すくえないかもしけない。

でも、すみっこのねーとーり、こころをたすけるのには、やくにたてるんだよー」

まゆゆ 「ここをたすけるって、どうやってたすけるっていうんだ？」

なづなづ 「ほんまに、そんなことやんのやろか。なづなづには、そんなじしん、ないわ。

さなさんみたいなかんべきなひとでも、むりやつたつていうこと、

そんなん、なづなづなんかに、できるわけあらへん」

すみつこ 「・・・・・」

わっくん 「さなさんが、につきにかいてたこと、ずっとまえから、かんがえてたんだー。

わっくん、おもっんだ。ほんとうにひとをすくうことって、

わなさんみたいな、しつかりしたひとでも、できなかつたことかもしれない。

でも、わっくんは、ひまーりを、すくいたいとおもつて、それだけでいいんだ。

きっと、ここをすくうためには、さなさんがにつきにかいていたとーり、

ひとのここをふれてはいけないとこね、

そのことにおづくことがひとつようなんだよー。

そうすることで、なやみとか、つらさ、かなしさ、じめつらや、そのほかにも、

ひとがかかえてるくしみをわかつて、じぶんのことのようにおもつて、

そして、よりそういうこと、すくおうとするこいつていうのが、だいじなんだよー。

きっとそれが、ひとのためになることをするともに、

ほんとうに、いちばんだいじなことなんだよー。

やうするこいつが・・・ひとのここをたすけるところのことなんだ」

すみつこ 「ひまわりをすくうことは、いまからでも、おやくない。

もちのん、ふれてはいけないことに、おづくことわ。

ひとのここをふれてはいけないといふ。

そのことにおづくことは、ほんとうに、くぬしこいことだよねむへんだい。

でも、じまの、スマイルのみんなには、それができぬ」

「そやわ、きづくことやわ。

さなわんは、ひとのここをかくつたために、おづくところをしてたんやわ。

もうすくねーことが、ほんまにくぬしことやつたとしても、

なづなづは、ひまわりちゃんのことをすくいたい。

ひまわりちゃんのことにおづくじて、すくうことを、

なづなづたちにもできるはずやで。

なづなづたちには、ここをすくつとかできんかもしけん。

でも、ここをすくうことなら、できるはずやわ」

「オレたちにも、おづくじとも、ここをすくうこともできる。

すみのいうように、あからをもつていなかつたとしてもだ。

くぬじくとも、なんとしても、ひまのことをすくってみせぬ」

まゆゆ

さつくん 「ひまーりと、みんなとは、なかよしじゃなんだよ。

だから、スマイルのみんなはきっと、

ひまーりのこころのふれてはいけないとこに、わくわくとがでもねむー。

・・・「うん、そうとちがうんだ。

みんなもう、ひまーりのこころのふれてはいけないとこにわくわくしてね。

そしてもう、すぐおうとしてるんだ。

さつくん、そーおもうんだー」

ひまーり 「は・・・え・・・」

なづなづ 「ひまわりちゃん、おきてたん」

まゆゆゆ 「オレたちのはなし、すつときいてたのか」

さつくん 「むりしてしゃべらないでー」

ひまーり 「はえ・・・いま・・・ひま・・・り・・・おもつた、んですけど・・・。

ひま、りの、から、だ・・・の・・・ぐるしゃ・・・。

それ、をす、まいる・・・で・・・なおす・・・という・・・のは・・・

できない・・・です・・・じほつじほつ。じほつじほつじほつ。

でも・・・・・・みなさんのおか・・・げ、で・・・。

ひま、りは・・・と、ても・・・しあわせ・・・で・・・した・・・」

さつくん 「しあわせ、だつたの一?」

なづなづ 「しあわせになれたん・・・?」

なづなづたちは、すぐえなかつたんとちやう・・・?」

ひまーり 「びょうきが・・・これから、わき、なおらない・・・て、わかつてて・・・

じほつ・・・わよう・・・こんな、こと・・・

してしまい・・・ま・・・した・・・。

で、も・・・ほんとは・・・いまま、で

・・・ずつと・・・しあわせ、でした・・・。

すまいるにきて・・・から・・・ず・・・と・・・しあわせ・・・です・・・。

じほつじほつ、そ、の・・・こと・・・わづい・・・たん・・・です・・・」

なづなづ 「うん」

まゆゆゆ 「びょうきだつたとしても、か?」

ひまーり 「は、い・・・。

みなさ、ん・・・ひま・・・り・・・の、こころを・・・

・・・たすけてくれま・・・した・・・。

ひま、りだけ、と・・・ちがつて・・・

・・・ほかのいろいろな・・・ひと、の、ことも・・・。

ほん、と・・・は・・・ひまりの・・・ひ、と・・・も・・・じほつじほつ、  
はじめ・・・て、あつたと・・・きから、きづい、て、く・・・れ、てて・・・。  
ひ、まり、は・・・その、こと、きづい、たん、です・・・。

だから・・・もつ・・・びよひか・・・の、

いま みな さ か い て くれ  
し・・・あわせ・・・で、もう・・・こんな・・・、

いのちを・・・する・・・なん、て・・・ヒト・・・しません・・・。

どんなことがあっても、だれのまえでも、

ずっと……〔えがおでこやか〕へと……」

「そうか……。オレも、ひまのこと、ずつときづいてた。  
それなりに、ふまをす、えな、い、すきみ。つつい。かる、く、く。

それなのにひまをすぐなくしてすまねえねりいふるしてくればひまのことをたすけることができなかつたこと、もうしわけないとおもつてゐる。

でも、たすけようとずっとしてたんだ。そのこと、つたえたい」

ひまわりのこと、ちゃんとわかるうとした。わかるうとしたんだ。

さくんなたちはひまわりのやーとーり  
しあわせーーえがおでいるーー、

よかつた・・・よかつた・・・よかつた・・・よかつた・・・

けが・・・が・・・よくな、て・・・から・・・ごほつごほつ・・・また・・・。

い、ま・・・ぼろぼろと・・・ないで、ま、すけ・・・ど・・・。

おつやいの・・・と・・・あ、あ・・・こあ、あ、でのよ・・・い・・・、

「ああ、またミンガツ子くれこのまえくいそひれたんだ  
ぐすつ、ぐすつ、えへへ。あつためてない、力チ力チのタイヤキもねー」

えつぐ……ひつか……うん、うん……ローシーグーヌーもつかってやあ

ひまりのこころのふれてはいけない……とこころ。  
みんなが、そしてひまり、そのこころ、きづかから……

みんないもそしててまりもそのこときいたから

みんな・・・さ、ん・・・の、こと・・・わす、れ、ま、せん・・・。

このさき ひま りが どうな ても 。

すみっこ 「そして、べつのひ。

「いりぐちから、からりんからりんというチャイムと、ドアがあくおとがした」

さつくん 「あー、いちげんさんだー。ひまー」

まゆゆゆ 「ひまつ。んだ、かつたりいな。なんのようだ?」

なづなづ 「ひまあ。なにか、はなしたいことあるんですやるかあ?」

さなさん 「こんにちは、わたし、さなさんつていいます」

すみっこ 「さなえ、がつこうに、かえってきたんだね」

さなさん 「うん。しゅじんがずっといなかつたんだよね。これなくてごめんなさい」

まゆゆゆ 「アンタが、さなさんか。しゅじんなら、いるだ」

さなさん 「え? どういうこと?」

さつくん 「さなさんのつきのじゅじんさん、いるよー」

なづなづ 「そおやでえ。うん、いますわあ」

さなさん 「そうなんだね。

「わたしがいないあいだの、いまのじゅじんさんて、どんなひとなの・・・?」

まゆゆゆ 「どんなひとかか」

さつくん 「うんー」

なづなづ 「そやね」

すみっこ 「たとえていうなら・・・」

まゆゆゆ 「いつもえがおで・・・」

なづなづ 「えがおがすてきな・・・」

さつくん 「みんなをえがおにする・・・」

みんな 「ひまわりみたいなひとー」

[ care-cafe : smiley-smile ]

ひまわり 「みなさんには、ずつと、どんなことがあっても・・・笑顔でいてほしいです」